

人文会ニュース

2010.9

代表幹事挨拶	田崎洋幸	I
書店現場から 新店開店に際して	藤浪哲也	3
15分で描くトラウマ・マップ	宮地尚子	5
人文会活動報告		
人文会年次総会報告		
委員会活動方針		
特約店グループ訪問報告		

109

<http://www.jinbunkai.com>

生誕100年記念

編 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

入門講座 白川静の世界

全3巻

- 1 文字
今から白川静の著作を読むという人にもむけて専門家が解説する入門書の第一巻。字書三部位で知られる白川の深遠な文字学に迫る。
- 2 文学
七十余年の白川の学究生活は、中国の「詩経」と日本の「万葉集」の比較研究を平易に解説。つた、その様々な文学論を平易に解説。
- 3 思想
文学の姿に社会の諸相を捉えた白川が説く古代中国を「孔子伝」などの思想論とともに紹介。全三巻の検索の便を図った総索引付き。

四六判 / 各1680円(税込)

平凡社 〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4
TEL 03-3818-0874 <http://www.heibonsha.co.jp/>

一人でも

だいじょうぶ

晴ればれ冬じたく

おちとよこ / 著

40歳からでも早くない、

70歳からでも遅くない!

人生一〇〇年の超長寿時代だからこそ、知っておきたいゆつくり息切れしない「幸齢計画」。自信を持って自分らしく生きるための、知恵と工夫。
□16800円

日本の医者

こころの科学書叢

中井久夫 / 著

若き日の中井久夫が、同僚たちとのあつい議論の末に筆名で書き下ろした日本の医学界への告発状。半世紀後の今、日本の医療は進化したか。 □2100円

日本評論社 〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4
<http://www.nipponya.co.jp/> TEL.03-3987-8621(税込)

法政大学出版局

<http://www.h-up.com/>

野沢 協 編訳

ピエール・ペール関連資料集1

抵抗と服従

完結した『ピエール・ペール著作集』の思想的背景にさらなる光をあて、同時代の論客メルラ、パーツ、ジュリュエーらの歴史的文書を、初めて邦訳・解説する基礎文献。A5判・上製貼函装 / 16,800円

ピエール・ペール著作集

全8巻・補巻1 [完結]

〈解体の哲学者・思想家〉ピエール・ペールの全貌に迫る、本邦初訳の主要著作集。各A5判・上製貼函装 / 全巻揃301,350円

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-7
☎03(5214)5540 / 表示価格は税込です



毛沢東

ある人生 上・下

フリリップ・シヨート

山形浩生 / 守岡桜訳

誕生から共産党創立、長征、文化大革命、死後まで、成長と変化を丹念にたどり、思想の変遷、世界情勢の中にも位置づけて描く、本格的な伝記。二十世紀の巨人の実像に迫る!
●(上)2940円 (下)3150円

白水社 東京都千代田区神田小川町3-24
tel.03-3291-7811 / fax.03-3291-8448
<http://www.hakusuisha.co.jp/> ※価格は税込

代表幹事挨拶

みすず書房 田崎洋幸

二〇一〇年五月一四日に行われた人文会年次総会において、鎌内宣行氏に代わり、八代目の代表幹事に選任された、田崎洋幸（みすず書房）です。書記幹事の新保卓夫氏（誠信書房）、会計幹事の平石修氏（御茶の水書房）が再任となり、委員会構成も変更はありません。〈販売・企画〉・〈調査・研修〉・〈広報〉の三委員会制を継続します。ただし、休会中であつた晶文社が復会して二〇社体制となつたこと（同じく休会中であつた草思社は退会）、多くの会員交代があつたことから、心機一転のスタートとなりました。

人文会は、それぞれの委員会を中心に企画立案をし、毎月の例会や個別の会合で活発な意見交換を行います。その後の活動は多岐にわたり、業界内からは高い評価を頂いています。ホームページからの情報は一般の読者にも有用であり、そのまま店頭での購買に結びついています。ご担当者には、更なる販売に繋げて頂く為に、ジャンル別の基本書リストをぜひご利用頂きたいと思ひます。ベテランの書店員の方々に協力頂いて作成したリストであり、人文書を販売頂いて多くの書店で有効活用が可能です。新刊情報とセットでご利用頂き、ひとりでも多くのお客様を店頭と呼び込んで頂ければと思います。それにより、リピートされるお客様が増えれば、双方が次のステップに進むことが可能でしょう。そうなれば、読者の方々に本当に喜んで頂ける、理想の棚作りが現実になると思ひます。

人文会の活動は、一冊の本を、それを求めている読者に届けることが最終的な目的です。その

ためにお互いが知恵を出し合い、協力し合うことは当然です。当たり前のことでありますが、出版不況にあえぐ中、我々に残された唯一の打開策に思えます。どうぞ積極的に、人文会にお声掛け下さい。皆様からのご意見、ご指摘を頂戴しながら、引き続き、ご賛同頂けるよう努力いたします。また、その先にある喜びのために、会員社一丸となって活動して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新店開店時の棚の荒詰め作業はスケジュールが非常にタイトで、常に時間に追われています。とにかく量を捌くことに集中するのですが、とはいいつつ段ボールから取り出した懐かしい本を手にも束の間妄想に耽る・記憶の彼方に旅してしまいうこともよくあります。

今春弊社静岡本店がリニューアルオープンを迎えたのですが、その時もそうでした。しばし作業を中断し、読んだ筈なのに——そして持っているのに——手にとり頁をめくってしまいます。例えば『構造と力』。勁草書房の本の箱が続いたのでそろそろかなと待ち構えていると、やはり姿を現します。いまだその全てを理解出来たとは到底言えませんが、悪戦苦闘した記憶は確かに残っています。そして『攻撃——悪の自然誌』。隣の平台に白い塊が見えたので近づいてみるとやはりみすず書房の本の山で、歴史に心理に文学にと分けていると当然のようにこの本が出て来ます。読まねばならない、といったある種強迫観念にも似た思いを抱いていた本であり、読み終えた時は予想していたことですが軽い興奮を覚えました。春秋社の仏教書を只管捌いているとひょっこり顔をのぞかせたのが『日本王権論』。網野善彦×宮田登×上野千鶴子ですし、中を開いてしまいますよねやはり。何とか本線に戻らないと、と自らを戒めていると出て来た『鉄道旅行の歴史』(法政大学出版社局)。ついでに『情報の歴史 増補版』や『テクノカルチャー・マトリクス』(ともにNIT出版)なんかを思い出したりします。知的興奮を呼び起こす、という口幅ったい気もしますが、寸暇を惜しんで読んだ本というのもそうそうないわけで、記憶への刻まれ方が他とは違うのでしょうか。発注も自分の担当ですから、品切れでないかぎり入荷してくることは分かっているのですが、いざ表紙を目にしてしまうとついつい。



筆者 近影

お気づきの方もおられると思いますが、前掲の本は新しいものではありません。現在も平積みで、という店舗も少ないのではと想像します。大抵の書店では棚に一冊が相場で、その代わり売れたら必ず補充注文を出して回転させていくといったところでしょう。最近はそのような「棚で回していく」感覚を身につけることを強く意識しています。それは常備寄託の略称としての「常備」ではなく、語義本来の「常備」ということですね。その多くが版元常備寄託セットに組み込まれていることはひとまず脇に置いておいて、顧客のニーズがあることは勿論ですが、担当者が棚の構成における要・不要の判断を下して店の常備品リストに付け加えていくやり方。心身ともにひどく負担のかかる方法ではありますが、弊店のような現在成長中の店にはまだまだ必要だと思われまます。その先にシステム開発とその運用を基にした現代的な店舗管理があるはずで、いきなりそこには辿り着けないですし、正統的な発展段階の一ステップと考えています。それでも新刊恐怖とでもいうような心理があって、棚にしる平台にしる新刊を並べることを優先しがちではあります。ある程度の冊数がとりわけ新刊配本で入荷してくるとその冊数の多寡に要らぬ邪推をしてしまいます(「本部の意図?」とか「版元の押し?」とか)。

新刊即平積みというのやはり思考停止であって、的確に状況判断したいものです。

人文会並びに会員社の営業担当の皆さまにはこのあたりを刺激していただくことがよくあります。「人文会ニュース」の発行然り、一昨年の「東京合同研修会」然り。それに結果をもって応えられるような真っ当な人文書担当者でありたいと思っています。

(ふじなみてつや・戸田書店静岡本店人文書担当)

一五分で描くトラウマ・マップ

宮地尚子

一 はじめに

トラウマとは心的外傷、心の傷のことです。

この言葉が日本で一般的に使われるようになったのは、一九九五年の阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件以降のことです。これらの出来事のもたらした衝撃は大きく、トラウマという概念が注目され、PTSD (Post Traumatic Stress Disorder: 心的外傷後ストレス障害) という病名が紹介されるようになりました。そして被災者や被害者、その遺族などへの「心のケア」の重要性が叫ばれるようになりました。その後は、大きな自然災害や事故、凶悪犯罪などが起きるたびに、トラウマ、PTSD、そして心の

ケアという言葉が当たり前のように用いられるようになっていきました。

もともとトラウマは、英語で「身体の傷」を意味する言葉でしたが、サイコロジカル・トラウマ(精神的な外傷)という使い方がされるようになり、やがてトラウマという言葉単独で心の傷という意味に用いられることが多くなりました。けれども、今でも米国などではトラウマ・センターというと、交通事故などで負傷した人が運び込まれる救命救急センターを示す場合もあります。

本稿では、このトラウマという概念について説明をしながら、トラウマと関わりの深い本(漫画や美術書を含む)を紹介しようと思います。タイトルに「トラウマ学」か「トラウマ研究」という言葉を使うべきか悩みましたが、

学問や研究というアプローチだけでは、トラウマのトラウマらしきが見えてこないように思うので、トラウマをめぐる書物の地図を描いてみることにしました。もちろん、トラウマという言葉を使っていなくても、トラウマの本質を描く書物は多くあり、本稿を読む方は、あれも入っていない、これも入っていないと思われれることでしょう。また私の関心や好み偏った選書になっていきます。ぜひ皆さんで、地図をより広くより豊かなものにしていってください。

二 ト라우マとは何か

前述のように、トラウマとは心の傷のことですが、もう少し詳しく言うと、過去の出来事によって心が耐えられないほどの衝撃を受け、なかば不可逆な影響を現在まで及ぼし続けるものとされています(厚生労働省PTSD研究班の二〇〇一年の報告書による)。

具体的には、多くの人にとって強い衝撃をもたらすような、日常では見られない出来事、例えば戦争・紛争、自然災害、犯罪、事故、拷問、人質、児童虐待、性暴力、

DV(ドメスティック・バイオレンス)、強制収容所体験などがトラウマティックな出来事とされ、その時と同じ恐怖や不快感を現在までもたらし続けるような場合、その精神的な影響がトラウマ反応とみなされます。

トラウマ反応として最もよく知られているのが、PTSDです。米国精神医学会の『精神疾患の分類と診断の手引き 第四版』(DSM-IV)によれば、PTSDは不安障害の一つとされ、生命や身体への脅威をもたらす「外傷的イベント」に遭遇し、強烈な恐怖と絶望的無力感を体験した後、(1)フラッシュバックや悪夢といった再体験症状、(2)事件を想起させるような刺激の回避や反応性の麻痺、感情の萎縮、(3)不眠、過度の警戒心、集中困難、驚愕反応など過覚醒症状、の三つを中心とした病像を呈するものをさしています。対人恐怖などのため、日常生活は大きく妨げられ、アルコールや薬物依存、自殺などにつながることも少なくないことが明らかになっています。

PTSDは米国において、ベトナム戦争帰還兵の研究をもとに、一九八〇年より一つの疾患概念として認知されるようになりました。けれど、それ以前にもフロイト

やジャネなどトラウマに注目し、記述をしていた専門家も少なくありません。そして二つの世界大戦が兵士にもたらした精神的影響を「戦争神経症」や「シエル(砲弾)ショック」として捉えたり、レイプ被害を受けた女性が共通して示しやすい症状をまとめた「レイプ・トラウマ・シンドローム」などの概念もすでに提出されています。PTSDはこれらを包括して捉えられるように概念化されましたが、PTSDの診断基準も、米国精神医学会の診断分類の改訂ごとに変遷があります。

実は、何がトラウマで何がそうでないのかを分ける境界線が明確にあるわけではありません。この曖昧さを排して、診断基準をマニュアル化し、操作的にトラウマを定義しようとしたのが、DSMの診断体系におけるPTSDだともいえます。これは「PTSDパラダイム」とも呼ぶことができます。パラダイムとはトマス・クーンによれば、「一定期間、科学に従事する者に対して、モデルとなる問いや答えを提供する普遍的に認められた科学的業績」です。パラダイムが確立すれば、専門家の基準が明確化し、研究は効率的に進みます。「基礎に立ち返ってまた繰り返し」ということをしなくても済

む」ようになり、論文が量産され、「通常科学」を進展させるわけです。

そして、PTSDは、原因とされる事件と個人の精神症状を因果関係として明確に結びつける疾患概念であるため、倫理的・法的責任を問われるのに用いられることが少なくなく、臨床現場を越えて議論を呼び起こしやすさという側面があります。例えば何か事件が起きたとき、臨床的には本人の訴えをもとに、さまざまな要因が症状に関与していると理解されます。けれども法的には、加害と被害の単純化や、その客観的証拠が求められるという違いがあり、齟齬を生んでしまうことが多々あるのです。例えば、性犯罪の被害者がトラウマに苦しむ、犯人を訴えようとしても、密室の中で何が起きたのかや、同意の有無を客観的に証明することが困難なため、立件されず、加害者が処罰されないことが多くあります。元従軍「慰安婦」問題などの歴史的事件においても、PTSDを理由とした賠償請求の訴えがなされていますが、その際にも何十年も前の証人の記憶がどこまで正確かということが疑問に付され、政治的な意図もあいまって請求却下という判断がされています。

ところで、トラウマをもちたらず経験にはさまざまなものがあり、その病像も多様なあらわれ方をします。つまりトラウマは、PTSDという形だけであらわれるのではないのです。抑うつ症状、幻覚・妄想などの精神病様症状、身体症状などがあらわれる場合もあります。

特に、収容所体験やDVなど、慢性的にトラウマティックな状況に置かれていると症状は複雑になり、価値観や行動パターンなどにも影響を及ぼし、パーソナリティにも変化を及ぼします。また、小児期からの虐待の場合、肯定的な自己イメージをもったり、自己の感情を調整したり、安定した対人関係を築いていくための能力を発達させることが妨げられ、人格形成に大きな影響を与えることが知られています。

こういったことから逆に、うつ病、解離性障害、境界性人格障害、摂食障害(拒食や過食・嘔吐など)、身体表現性障害(身体的な異常はないのに目が見えなくなったり、歩けなくなるなど、いわゆる「ヒステリー症状」といわれてきたもの)、薬物やアルコール依存症など、これまで多様な診断名を下されてきた人たちを、トラウマとの関連から見なおし、トラウマ反応の一種として症状を捉えなおす見方も

広まってきました。これは従来の精神疾患の診断体系をも揺るがせる可能性をもっています。そして、このようにトラウマを深く探っていくと、暴力の連鎖や、被害と加害が必ずしもきれいに分けられないこと、アイデンティティの複雑性、出来事の責任主体の問題なども考えていかざるを得なくなります。

近年、生理学、脳神経科学や行動科学、発達心理学などの分野で、トラウマのメカニズムの解明は急速に進みつつあります。ここでは、脳内の海馬や扁桃体へのトラウマの影響と記憶のメカニズム、乳幼児期の養育者との愛着パターンと感情調整能力や解離症状の関係など、興味深い知見が生まれてきています。

こういったトラウマをめぐる研究の最前線は、心身二元論を突き崩し、理性と感情とがいかに密接に関連しているかなど、新しい人間の捉え方をもちます。そして人間が主体性をもち、アイデンティティを確立していくためには、乳幼児期の養育者との安定した愛着関係がどれほど必要不可欠であるかということや、自己の感情を調整する能力が親密な他者との関係性や境界線を適切にもつためにいかに重要であるかということ、それら

がきちんと働かないことによって親密圏での暴力とトラウマの連鎖が起きたり（児童虐待やDVなど）、ジェンダー規範の再生産につながっていくことも明らかになりつつあります。そして社会的逸脱行為として、もっぱら倫理的・道徳的に捉えられてきたアディクション（嗜癮や自傷、非行や他書行為などへも、深い理論的示唆を与えると考えられます。

では、今かいつまんで説明したトラウマとは何かというところを、より詳しく知るための手引書を紹介しましょう。日本語で読めるものに限ると、第一に挙げられるのが、ジュディス・L・ハーマン『増補版 心的外傷と回復』（中井久夫訳、みすず書房、一九九九年）でしょう。トラウマの本質を恐怖、孤立、離断と捉え、回復への道のりを安全、想起と服喪追悼、再結合という三段階に分けて細かく描いたこの本は、もはや古典としての位置を獲得しています。実は、トラウマやPTSDという言葉は、日本では一九九五年以前は精神科医など専門家にとってもあまりなじみのないものでした。そのため、阪神淡路大震災の余波の強い時期に、そのまっただ中であつた当時神戸大学医学部精神医学教室の教授、中井久夫氏に

よって日本の専門家向けに訳されたのがこの本なのです。一九九六年の初版以降、この本は値段も専門書並み（というかそれ以上）であるにもかかわらず、多くの当事者にも読まれることになりました。これはハーマンが精神科医として臨床現場で、これまで一番声の聴かれることの少なかったDVや性暴力などの被害を受けた女性たちに耳を傾け、真摯に向き合い、暴力の背景にある社会構造や権力関係まで見据えながら、回復を支援してきた人であつたからでしょう。多くの当事者が、自分のことをわかつてもらえたという感覚を抱いたと同時に、回復への希望をそこに見いだしたのです。ハーマンは、一九世紀のヒステリー研究や、ホロコースト・サバイバーや兵士のトラウマなども詳しく取り上げ、トラウマという概念の歴史の変遷とその政治的文脈についても透徹した考察をおこなっています。また長期のトラウマがもたらす多彩な症状を包括して理解するために、複雑性PTSDという疾患概念を提唱しているのも特徴的です。

一方、この本の訳者の中井氏自身も著作が多数あり、いずれも味わい深いですが、例えば『徴候・記憶・外傷』（みすず書房、二〇〇四年）は、長年の臨床的観察を振り

返り、トラウマの徴候や、記憶とトラウマとの関係をめぐってあらためて考察をおこなっています。

精神保健の専門家向けの論集としては、ベセル・A・ヴァン・デア・コルク／アレキサンダー・C・マクファーレン／ラース・ウェイゼス編『トラウマティック・ストレス——PTSDおよびトラウマ反応の臨床と研究のすべて』(西澤哲監訳、誠信書房、二〇〇一年)もよいと思います。トラウマ全般を知るために、もう少しわかりやすいものとしては、小西聖子『増補新版 犯罪被害者の心の傷』(白水社、二〇〇六年)や、金吉晴編『心的トラウマの理解とケア 第2版』(じほう、二〇〇六年)があります。小西氏は日本のトラウマ臨床の第一人者で、特に犯罪被害を専門としており、金氏も厚生労働省のPTSD研究班の班長をしています。

子どものトラウマに関しては、レノア・テア『記憶を消す子供たち』(吉田利子訳、草思社、一九九五年)が古典といえるでしょう。児童虐待やいじめについては多くの本がありますが、よくまとまっているものとして、森田ゆり『子どもと暴力——子どもたちと語るために』(岩波書店、一九九九年)があります。アリス・ミラー『魂

の殺人——親は子どもに何をしたか』(山下公子訳、新曜社、一九八三年)は、ヒットラーの幼年時代を詳しく分析するなど、子どもの傷つきがもたらす長期的影響を鋭く探っています。

トラウマ反応の中でも複雑でわかりにくく、誤解されやすい、けれども重要なものとして解離症状というものがあります。これは自我の統合性が薄れ、離人感や健忘、記憶喪失などの症状を示したり、極端な場合は人格がいくつかに分かれる状態のことを示しています。解離について理解したい人は、フランク・W・パトナムの『多重人格障害』(安克昌・中井久夫訳、岩崎学術出版社、二〇〇〇年)と『解離——若年期における病理と治療』(中井久夫訳、みすず書房、二〇〇一年)がおすすすめです。また近年再評価されている、ピエール・ジャネ(例えば、松本雅彦訳『心理学的医学』みすず書房、一九八一年)や、シャンドール・フェレンツイ(例えば、森茂起訳『臨床日記』みすず書房、二〇〇〇年)などの古典を読んでみるのもいいでしょう。岡野憲一郎『心のマルチ・ネットワーク』(講談社、二〇〇〇年)や、柴山雅俊『解離性障害——「うしろに誰かいる」の精神病理』(筑摩書房、二〇〇七年)も一般の人向けに書かれ

た良質の入門書です。

リストカットなどの自傷行為も、トラウマと関連していることが、まだ完全に解明されているわけではありませんが、臨床的にはよく知られています。自傷については、アルマンド・R・ファヴァツァ『自傷の文化精神医学——包囲された身体』（松本俊彦訳、金剛出版、二〇〇九年）や、林直樹『リストカット——自傷行為をのりこえる』（講談社、二〇〇七年）、ステイブン・レベンクロン『CUTTING』（森川那智子訳、集英社文庫、二〇〇五年）などが参考になるでしょう。

トラウマを人文学的な視点から見たものとしては、キャシー・カルース編『トラウマへの探究——証言の可能性と可能性』（下河辺美知子監訳、作品社、二〇〇〇年）が重要です。キャシー・カルースの単著『トラウマ・歴史・物語』（下河辺美知子訳、みすず書房、二〇〇五年）もよく知られています。人文・心理学系の論集では、森茂起編『埋葬と亡霊——トラウマ概念の再考』（人文書院、二〇〇五年）もよいと思います。森茂起氏の単著『トラウマの発見』（講談社、二〇〇五年）も、トラウマ概念の歴史の変遷とその背景を知りたい人には有用でしょう。

PTSDが米国で診断概念として採用されるに至った歴史的・政治的背景については、アラン・ヤング『PTSDの医療人類学』（中井久夫ほか訳、みすず書房、二〇〇一年）の詳しい分析があります。アンリ・エランベルジェ（エレンベルガー）の著作集（全三巻、中井久夫訳、みすず書房、一九九〇～二〇〇〇年）や『無意識の発見——力動精神医学発達史』（上・下、弘文堂、一九八〇年）も興味深いです。

三 傷を抱えて生きる

トラウマには、ある種の圧倒性があります。それは言語化を拒んだり、比較や分類、相対化を拒むものでもあります。そういう意味でも、当事者による証言や記述はとても重要です。傷を負うということは、傷を抱えながらその後の人生を生きるということでもあります。たとえPTSDにならなくても、症状が回復したとしても、傷の記憶が消えるわけではなく、愛する人や安全な生活、自他を含む人間への信頼など、失ったものが戻ってくるわけではないことが往々にしてあるからです。

ナチによるユダヤ人ホロコーストのトラウマについて

ては、生還者による証言がたくさん翻訳されています。ヴィクトール・E・フランクルやジャン・アメリー、エリ・ヴィーゼルなども重要ですが、私はとくに『新装版パウル・ツェラン詩集』（飯吉光夫訳編、思潮社、一九九二年）が好きです。好きというのは語弊があるかもしれませんが。ツェランは初期の頃の詩集の方がホロコーストの苦悩を伝えるものとして有名ですが、どんどん透明度を増していく後期の詩集こそ、美しいだけに、痛みが強く刻まれているような気がします。プリーモ・レーヴィ『溺れるものと救われるもの』（竹山博英訳、朝日新聞社、二〇〇〇年）もおすすめです。収容所での苦しい生活を生き延びた強さと、生き延びたゆえに追いかけてくる傷や罪悪感が、そこには深く描かれています。

性暴力については、『ベルリン終戦日記——ある女性の記録』（アントニー・ビーヴァー序文、ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー後記、山本浩司訳、白水社、二〇〇八年）をまず挙げましょう。匿名著者の日記ですが、終戦後の悲惨な状況を女性が生き延びるということの、リアルな意味を教えられます。聡明で勇気があり、記者として書く力をもつ女性が、生き証人として、性暴力被害を含

め、自身の体験について鮮明で誠実な記録を残してくれたことに感謝したいと思います。小林美佳『性犯罪被害にあらうということ』（朝日新聞出版、二〇〇八年）は、まだまだ性被害者へのスティグマ（偏見）の強い日本で著者が実名と写真を公表したことで話題になりましたが、被害とその後の苦しみを余すところなく描いており、にもかかわらず読後感がさわやかです。出版から一年の間に著者は二〇〇人以上から連絡を受け、その半数以上は被害当事者とのことで、孤立してきた被害者たちがこの本から大きな救いを得ていることがわかります。一方、二九歳で夭逝した菜摘ひかるの一連の本、例えば『菜摘ひかるの私はカメラになりたい』（角川文庫、二〇〇二年）は風俗嬢の日常を描いたものとして注目を浴びましたが、私には多くの傷を抱えながら必死で生き延びようとしてきた女性の姿が痛々しく映ります。逆に、田中美津『かけがえのない、大したことはない私』（インパクト出版会、二〇〇五年）は、日本の一九七〇年代のウィメンズ・リブを率い、現在は針灸師をしている著者の、傷と決して無縁ではない、けれども力強くしなやかな生き様を描き出しています。

病いというテーマでは、東京HIV訴訟原告団『薬害エイズ原告からの手紙』(三省堂、一九九五年)は、トラウマという言葉は使われていませんが、まさに薬害エイズがもたらした傷を第一人称で描いていると思います。精神障害については、浦河べてるの家『べてるの家の「当事者研究」』(医学書院、二〇〇五年)が興味深いです。精神障害者として他律的に扱われてきた人たちが、「当事者研究」をすることで、自らの症状や苦しみを消し去るのではなく主体的に悩めるようになるというのは、回復への大きな逆説のような気がします。身体障害や身体疾患がもたらすトラウマとそれを物語ることの意味については、アーサー・W・フランク『傷ついた物語の語り手——身体・病い・倫理』(鈴木智之訳、ゆみる出版、二〇〇二年)が参考になるでしょう。学術書ですが、著者自身の経験が起点となっており、当事者研究の一つといえるかもしれません。綾屋紗月・熊谷晋一郎『発達障害当事者研究』(医学書院、二〇〇八年)や、熊谷晋一郎『リハビリの夜』(医学書院、二〇〇九年)も、おすすめです。

バリー・M・コーエン／エスター・ギラー／リン・W編著『多重人格者の心の内側の世界——154人の

当事者の手記』(宮地尚子監訳、作品社、二〇〇三年)は、トラウマと解離の関係を当事者の内面から照らし出したものです。当事者研究というと、ダルク女性ハウス当事者研究チーム「なまみーず」編『Don't you?』私もだよーからだのことを話してみました』(特定非営利活動法人ダルク女性ハウス、二〇〇九年)も画期的だと思います。写真もたくさん入っておりカラフルで読みやすいブックレットです。薬物に限らず依存症の人たちは、子どもの頃虐待を受けるなどトラウマ体験をもつことが多く、その痛みから逃れるため自己処方的に依存に陥ることが多いことが知られています。特に薬物依存の女性は、子どもの頃からネグレクト(育児放棄)や身体的・性的虐待の被害を受けていることが多く、依存症になってからもさらに被害を受けることが多いのですが、社会一般からは犯罪者という敵しい目で見られています。けれども、薬物依存から回復中の女性たちが、思うとおりにならない自分たちの身体に向き合ったこの本は、依存症の人だけではなく、生きづらいと感じている人に共感を与えるのではないかと思います。

砂川秀樹・RYOJI編『カミングアウト・レター

ズ』(太郎次郎社エディタス、二〇〇七年)は同性愛について、当事者と親や学校の先生などとの往復書簡集です。このほか紹介したいものは数えきれませんが、金石範・金時鐘『なぜ書きつづけてきたか なぜ沈黙してきたか—— 濟州島四・三事件の記憶と文学』(平凡社、二〇〇一年)、宮城晴美『新装版 母の遺したのもの—— 沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実』(高文研、二〇〇八年)、濱谷正晴『原爆体験—— 六七四四人・死と生の証言』(岩波書店、二〇〇五年)、ハスラー・アキラ『売男日記 nobody can live alone』(イッシブレス、二〇〇〇年)なども貴重な記録だと思います。

四 傷ついた人のそばにたたく

傷を抱えた人が希望をもって生き続けるには、周囲の人々とのポジティブな関わりが必ず必要です。安克昌『心の傷を癒すということ』(角川文庫、二〇〇一年)は、阪神淡路大震災の時、神戸大学医学部で精神医学教室の医局長をしていた著者の、そのまっただ中での活動記録です。自身も被災しながら、住民や患者さんをサポートし、

心の傷が癒やされやすい社会のあり方にも言及するといふトラウマ・ケアの原点が描かれています。彼は実は震災の前から、トラウマに関心をもち、その中でも重度とされる解離性同一性障害(いわゆる多重人格)を中心に臨床・研究を重ねていました。そして二〇〇〇年末に病気で亡くなりながら、臨床の世界で今も多くの人たちに影響を与えています。『治療の聲』第九巻一号「特集 安克昌の臨床世界」(星和書店、二〇〇九年)からは、彼の多面性をそのままいろいろな人が受け継ぎ、発展させている様子がうかがえます。彼からの応答を聞けないのが、とても残念ではありますが。

傷ついた人のそばにたたくことは、予想以上に体力を消耗します。周囲の無理解により当事者がさらなる外傷(再外傷・二次被害)を受けることも少なくありませんが、一方で周囲の人たちも時に「被爆」をします。そういった傷つきは「代理外傷」や「二次的外傷」と呼ばれ、B・H・スタム編『二次的外傷性ストレス—— 臨床家、研究者、教育者のためのセルフケアの問題』(小西聖子・金田ユリ子訳、誠信書房、二〇〇三年)にその詳細が書かれています。「感情労働」という視点から援助職者のストレ

スを捉えた、武井麻子『ひと相手の仕事はなぜ疲れるのか——感情労働の時代』（大和書房、二〇〇六年）も興味深いです。

拙著『環状島＝トラウマの地政学』（みすず書房、二〇〇七年）は、トラウマを語る／語らないこととその条件、被害者と支援者、被害者間や支援者間の力動や、専門家の役割などについて分析・考察したものです。それに続く『傷を愛せるか』（大月書店、二〇一〇年）は、傷を抱えた人のそばにたたずむことの意味をエッセイという形で描いたものです。

このほか、アーサー・クラインマン『病いの語り——慢性の病いをめぐる臨床人類学』（江口重幸ほか訳、誠信書房、一九九六年）、森岡正博『33個めの石——傷ついた現代のための哲学』（春秋社、二〇〇九年）、鷺田清一『「待つ」ということ』（角川選書、二〇〇六年）、ハンセン病違憲国賠訴訟弁護団『開かれた扉——ハンセン病裁判を闘った人たち』（講談社、二〇〇三年）などもよいと思います。

エレン・バス／ローラ・デビス『新装改訂版 生きる勇氣と癒す力——性暴力の時代を生きる女性のためのガイドブック』（原美奈子・二見れい子訳、三一書房

二〇〇七年）、リチャード・B・ガートナー『少年への性的虐待——男性被害者の心的外傷と精神分析治療』（宮地尚子監訳、作品社、二〇〇五年）、拙著『医療現場におけるDV被害者への対応ハンドブック——医師および医療関係者のために』（明石書店、二〇〇八年）などが、治療的なアプローチとしては参考になるでしょう。

五 社会と傷の記憶

トラウマは個人の精神心理・病理として捉えられがちですが、いうまでもなく戦争、犯罪、事件などの社会的事象と密接につながっています。日本の近現代に限っても、いくつかの戦争、広島・長崎への原爆投下、東京大空襲、周辺国の植民地化、沖縄と軍事基地、水俣病、ハンセン病者の隔離政策、地震や台風などの自然災害、飛行機墜落事故や電車事故、交通事故、無差別殺人などなど、数えきれない出来事があり、心に傷を負いながら生きてきた人たちもまた無数にいます。社会科学からのトラウマへのアプローチは今後重要となると思われますが、分析はまだ緒にいたばかりです。

歴史的な事件がもたらした集合的記憶とアイデンティティやナショナルリズムとの関係、メディアでの表象による感情操作や動員のあり方、トラウマ体験の言語化不可能性と証言や記録・歴史資料の確保やその扱い方、オーラル・ヒストリーの手法などもつ可能性と限界、差別やマイノリティ体験とトラウマとの関係、ジェンダーによる差異など、重要な探求課題が山積しているといえるでしょう。

また、現在の精神医学や心理学のトラウマへのアプローチは、病理の個人化、医学化、脱政治化の傾向を強くもっています。社会の悲惨な出来事が個々人の精神にもたらす深い影響への気づきを促すためにも、トラウマという概念は重要です。けれども医学的研究が進むにつれ、トラウマは「異常な体験への正常な反応」だという捉え方だったのが、罹患しやすい個人の脆弱性へ注目がシフトしてきています。実際PTSDを発症する個人は限られており、一年後の有病率が事件や事故で五〜一〇パーセント、レイプで四〇〜六〇パーセントといわれています。そこでは時間による自然な回復や個々人のレジリエンス(復元力)が働くといわれています。けれども回

復は、その人がどのような社会に受け入れられていくかによっても大きく左右されます。これらについて、科学的な側面から批判的に見ていく視点も必要でしょう。トラウマの予防やトラウマからの回復は社会全体で考えなければいけない問題であり、人間がもつ普遍的な脆弱性とどう向き合っていくのか、という深い倫理・哲学的な問題もそこから喚起されるでしょう。

こういった、社会や文化という側面からトラウマを扱ったものとしては、拙著『トラウマの医療人類学』(みすず書房、二〇〇五年)が役に立つのではないかと思えます。編著の『トラウマとジェンダー——臨床からの声』(金剛出版、二〇〇四年)は、トラウマとジェンダーとの関係を分析した論集です。同じく編著の『性的支配と歴史——植民地主義から民族浄化まで』(大月書店、二〇〇八年)は性暴力の問題を通文化的、歴史的、構造的に捉えてみようとした論集です。

坂上香『癒しと和解への旅——犯罪被害者と死刑囚の家族たち』(岩波書店、一九九九年)は、米国で犯罪後の被害者遺族と死刑囚の家族がともに旅をする過程を追ったもので、社会的な癒しや償い、和解のあり方を深く考

えさせられます。北村毅『死者たちの戦後誌——沖繩戦跡をめぐる人びとの記憶』（御茶の水書房、二〇〇九年）は、沖繩の歴史的な傷と記憶を、膨大な資料から浮き彫りにしています。川田文字『赤瓦の家——朝鮮から来た従軍慰安婦』（ちくま文庫、一九九四年）も重要なルポルタージュです。

マリタ・スターケン『アメリカという記憶——ベトナム戦争、エイズ、記念碑的表象』（岩崎稔ほか訳、未来社、二〇〇四年）や、ケネス・E・フット『記念碑の語るアメリカ——暴力と追悼の風景』（和田光弘ほか訳、名古屋大学出版会、二〇〇二年）は社会がいかに戦争や暴力によってもたらされた傷を扱うか、歴史的記憶としてどう残すか（または残さないか）を分析しています。類似の関心をもつものとして、生井英考『負けた戦争の記憶——歴史のなかのヴェトナム戦争』（三省堂、二〇〇〇年）、白井洋子『ベトナム戦争のアメリカ——もう一つのアメリカ史』（刀水書房、二〇〇六年）もあります。アーノルド・ミッデル『紛争の心理学——融合の炎のワーク』（永沢哲監修、青木聡訳、講談社現代新書、二〇〇一年）は、紛争の解決にワールドワークというものを考案し、世界のあちこ

ちで活動をおこなっている著者によるもので、ランクといった概念が重要だと思えます。そこにも社会がトラウマとどう向き合うべきか、敵味方という対極にありながら、双方とも傷ついた者同士がどうすればさらに傷つけ合わずにすむようになるのかという、思考と知恵が見られます。

ところで、PTSDという言葉ができて三〇年、トラウマという言葉が日本で広まってまだ一五年しか経っていないわけですが、もちろんトラウマ的な出来事がそれまでになかったわけでも、心に傷を負った人がいなかったわけでもありません。世界では奴隷制や新大陸征服、人種差別、植民地支配、世界大戦、民族虐殺など悲惨な出来事が繰り返されてきました。トラウマという言葉は使われていませんが、これらの出来事や人々についても多くのことが書かれてきました。

例えば、フランツ・ファノンの『黒い皮膚・白い仮面』（海老坂武・加藤晴久訳、みすず書房、一九九八年）と『地に呪われたる者』（鈴木道彦・浦野衣子訳、みすず書房、一九九六年）や、W・E・B・デュボイス『黒人のたましい』（黄寅秀訳、岩波書店、一九九二年）は、現在のトラウ

マ研究の主流とはいえませんが、間違いなく古典です。デュボイスの「二重意識」の概念は、トラウマの文脈からも再評価されるべきでしょう。グレゴリー・ペイトソン『普及改訂版 精神と自然——生きた世界の認識論』（佐藤良明訳、新思索社、二〇〇六年）の「ダブル・バインド」概念も然りです。また、アーヴィング・ゴッフマンの『改訂版 ステイグマの社会学——烙印を押されたアイデンティティ』（石黒毅訳、せりか書房、二〇〇一年）なども、トラウマを社会的側面から深く掘り下げるために読み直されるべきでしょう。

六 希望をつなぐ——文学・アートの力

トラウマの生物学的なメカニズムは現在解明されつつあります。けれども、生物学的な理解では接近できないような切迫さがトラウマにはあります。そして、文学や芸術作品の中には、精神医学的記述よりも鮮明にその切迫さを表現しているものが多くあります。文学やアートという形で自己の傷を昇華させ、生き延びる希望を得ている人も少なくありません。当事者の証言とはまた異なる

これらの作品を味わい、トラウマへの理解を深めてみてください。

例えば、天童荒太『包帯クラブ』（ちくまプリマー新書、二〇〇六年）はどうでしょうか。傷を見つめ、手当てをすることの意義をティーンエイジャー向けに生き生きと描いています。虐待と子どもが無力さ、逃げるという希望、複雑な傷が網の目のように絡む様子を、人魚というメタファーを利かせて描いた桜庭一樹『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない——A lollypop or a bullet』（角川文庫、二〇〇九年）もいいでしょう。乙一の短編集『失はれる物語』（角川文庫、二〇〇六年）には人から人に傷が移る話などが収録されていて、触覚感が満点です。エイミー・ベンダー『燃えるスカートの少女』（管啓次郎訳、角川文庫、二〇〇七年）も短編集で、その中の「癒す人」はトラウマを寓話的に捉えた珠玉の作品だと思います。ブルック・ステイヴンズ『タトゥー・ガール』（細美遥子訳、講談社文庫、二〇〇四年）は、全身に鱗のタトゥーを入れられた少女が主人公なのですが、重い傷のメタファーとして痛すぎるほど鮮烈だと思います。後半は非現実的な脱出劇になってしまっていますが、前半部分の、周囲の人々が少女に引

きつけられていく様子や、患者の症状が自分にうつってしまう特異体質をもつ医者が印象的です。このほか、東峰夫『オキナワの少年』（文春文庫、一九八〇年）、梨木香歩『西の魔女が死んだ』（新潮文庫、二〇〇一年）なども興味深いです。

『鉄の時代』（くぼたのぞみ訳、河出書房新社、二〇〇八年）などJ・M・クツツェーの一連の作品は、南アフリカの人種差別政策がもたらした社会や個人への深い傷痕、アパルトヘイトが撤廃された後もその負の遺産として吹き荒れる暴力を、乾いた筆致で描いています。J・M・G・ル・クレジオの一連の作品はアフリカや南米を舞台に、柔らかな視線で社会の傷を見つめ、描いているように思えます。トラウマについて書かれたものではありませんが、アフリカで医師をしていた父親をめぐるメモワール『アフリカの人——父の肖像』（菅野昭正訳、集英社、二〇〇六年）は、彼の原点を示しているようで、異国の風景なのに読み返すとどこかなつかしくなる作品です。トニ・モリソンの作品には、米国の奴隷制時代に生きる黒人の傷と記憶が描かれます。その差し迫る筆致は、文字を学ぶ機会さえ与えられず、心身ともに傷つけられ、簡

単に殺され、それでも次世代に生命を紡ぎ続けた人々が、まるで憑衣したかのようにです。エドゥアール・グリッサン『〈関係〉の詩学』（菅啓次郎訳、インスクリプト、二〇〇〇年）もおすすすめです。

「二トラウマとは何か」で挙げた当事者の証言や自伝に近いものとしては、石牟礼道子『新装版 苦海浄土——わが水俣病』（講談社文庫、二〇〇四年）、バオ・ニン『戦争の悲しみ』（井川一久訳、めるくまーる、一九九七年。池澤夏樹Ⅱ個人編集『世界文学全集1-6』河出書房新社、二〇〇八年にも収録）や、ティム・オブライエン『本当の戦争の話をしよう』（村上春樹訳、文春文庫、一九九八年）などがあります。敵味方としてですが、同じ土地で戦った兵士たちの記録として、バオ・ニンとティム・オブライエンを読み比べてみるのもいいでしょう。ジャングルのむっとした熱気と火薬の臭いが立ちこめてきそうです。文学作品と社会との関わりについては、苦悩の歴史の中でも日常生活を丁寧に着もうとするパレスチナの人たちと文学の価値についての岡真理『アラブ、祈りとしての文学』（みすず書房、二〇〇八年）や、沖繩の傷が現地と日本本土でどのように文学作品の中に描かれているの

かを分析したマイク・モラスキー『占領の記憶／記憶の占領——戦後沖繩・日本とアメリカ』（鈴木直子訳、青土社、二〇〇六年）などを読んでみてもよいでしょう。

漫画については、名作といえるのが、広島島の被爆女性を描いた、こうの史代『夕凧の街桜の国』（双葉社、二〇〇四年）です。彼女の目に映るものこそ、傷の風景にほかならないと思います。成田美名子の『Cipher』（全七巻、白泉社文庫、一九九七年）や、羅川真里茂『赤ちゃんと僕』（全一〇巻、白泉社文庫、二〇〇一―二〇〇二年）、くらもちふさこ『おしゃべり階段』（集英社文庫、一九九六年）、槇村さとる『イマジジン』（全七巻、集英社文庫、二〇〇二年）なども私の好きな作品です。槇村さとるは『イマジジン・ノート』（集英社文庫、二〇〇二年）で父親からの性的虐待を思い出し、その記憶と格闘する中で作品を生み出していった経過を記しており、いかに創造的な仕事が傷から生まれるのか、そして創造することによっていかに傷の先を生きていけるのかを示していると思います。このほか萩尾望都や竹宮恵子なども素晴らしい作品を途切れることなく描いてきました。日本の少女漫画の豊かさは、女性の社会進出が限られていた時代に、才能を発揮でき

る数少ない場として、少女漫画界が存在していたことが大きいといえるでしょう。

アート作品としては、何よりも挙げたいのが『YES オノ・ヨーコ展 カタログ』（朝日新聞社、二〇〇三年）です。彼女は人が傷つくとはどういうことかを確実に知り、だからこそ傷の連鎖する哀しさを、傷を抱えるからこそ感じ合える優しさ・美しさを、作品にミニマムな形で示している気がします。私は以前、彼女の作品はサイコ・セラピューティックだと書いたことがありますが、受け身の癒やしとは違い、作品と向き合うことで自分の内側から湧き出る力を感じてみてください。入手しやすいものとしては『グレープフルーツ・ジュース』（南風椎訳、講談社文庫、一九九八年）などもあります。ほかに、マルレーネ・デュマスの作品、例えば『マルレーネ・デュマスブロークン・ホワイト』（東京都現代美術館・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館監修、淡交社、二〇〇七年）も、人間の弱さと強さを同時にあらわしており、かつ人種や文化、ジェンダーの壁をさりげなく、けれど大胆に越えていつていると思います。ロスコヤクレーの抽象画も、作品の前にただたたずむことで、心の中の傷が浮き彫りにされ、

ありのまま受けとめられるような感じを受けるのではないでしょうか。アート作品の評論、徐京植『ディアスポラ紀行——追放された者のまなざし』(岩波新書、二〇〇五年)は、自身の傷を抱えながらの旅の記憶でもあり、胸をつかれます。

写真集では、例えばナン・ゴールディン『悪魔の遊び場』(ファイドン、二〇〇五年)が、薬物依存やHIV/AIDSを抱えて生きる人たちを生々しく、けれども敬意と親しみのこもった視線で捉えています。セバスティアン・サルガードの作品は、亡命や移住、労働などがもたらす傷つきと同時に、それでも生き続ける人間の生命力をあらわしています。例えば『人間の大地 労働——セバスティアン・サルガード写真集』(今福龍太訳、岩波書店、一九九四年)などです。石内都『Scars』(蒼穹舎、二〇〇五年)は、傷そのものを写しながら、それ以上のものが映し出されていると思います。

七 最後に

書いていると、ほかにも過去に読んだ素晴らしい本が

どんどん思い出されてきましたが、自制してこのあたりでやめましょう。

トラウマは、人間が傷つくものだという当たり前の事実を見つめ、そういう人間の弱さに直面することの重要性を教えてくださいます。トラウマは放置され忘れ去られたように見えても、しばしば世代を超えて連鎖していきま

す。時間が薬、というのは間違いではありません。ただそれは安全な場所が確保され、周囲から傷つきを認められ、手当てを受け、温かく見守られることによつて癒えていくのです。本はそういう安全な場所と時間をつくり出すことを可能にします。本がこれからも、そういった欠かせない役割を果たし続けていくことを願っています。

宮地尚子(みやじ・なおこ)

一橋大学大学院社会学研究科教授。精神科医師、医学博士。専門は文化精神医学、医療人類学、ジェンダーとセクシュアリティ。

15分で描くトラウマ・マップ ブックガイド

出版社	ISBN(978)	書名	著者名	本体 価格	刊行
みすず書房	4622041139	増補版 心的外傷と回復	ジュディス・L・ハーマン (中井久夫訳)	6,800	1999
みすず書房	4622070740	徴候・記憶・外傷	中井久夫	3,800	2004
誠信書房	4414402865	トラウマティック・スト レス	ベセル・A・ヴァン・デア・ コルク/アレキサンダー・C・ マクファーレン/ラース・ウェ イゼス編(西澤哲監訳)	8,500	2001
白水社	4560049778	増補新版 犯罪被害者の 心の傷	小西聖子	1,800	2006
じほう	4840735438	心的トラウマの理解と ケア 第2版	金吉晴編	2,200	2006
草思社	4794206381	記憶を消す子供たち	レノア・テア(吉田利子訳)	2,300	1995
岩波書店	4000228046	子どもと暴力	森田ゆり	2,000	1999
新曜社	4788501737	魂の殺人	アリス・ミラー(山下公子訳)	2,800	1983
岩崎学術出 版社	4753300129	多重人格性障害	フランク・W・パトナム(安 克昌・中井久夫訳)	8,000	2000
みすず書房	4622041252	解離	フランク・W・パトナム(中 井久夫訳)	7,600	2001
みすず書房	4622023203	心理学的医学	ビエール・ジャネ(松本雅彦 訳)	3,600	1981
みすず書房	4622041177	臨床日記	シャンドール・フェレンツイ (森茂起訳)	5,200	2000
講談社	4061495197	心のマルチ・ネットワー ク	岡野憲一郎	660	2000*
筑摩書房	4480063830	解離性障害	柴山雅俊	700	2007
金剛出版	4772410724	自傷の文化精神医学	アルマンド・R・ファヴァッ ツァ(松本俊彦訳)	6,800	2009
講談社	4062879125	リストカット	林直樹	700	2007
集英社文庫	4087604795	CUTTING	スティープン・レベシクロ ン(森川那智子訳)	618	2005
作品社	4878933516	トラウマへの探究	キャシー・カルース編(下河 辺美知子監訳)	3,800	2000
みすず書房	4622071099	トラウマ・歴史・物語	キャシー・カルース(下河辺 美知子訳)	2,800	2005
人文書院	4409340288	埋葬と亡霊	森茂起編	2,500	2005
講談社	4062583213	トラウマの発見	森茂起	1,500	2005
みすず書房	4622041184	PTSDの医療人類学	アラン・ヤング(中井久夫ほ か訳)	7,000	2001

出版社	ISBN (978)	書名	著者名	本体価格	刊行
みすず書房	4622041214	エランベルジェ著作集 1	アンリ・エランベルジェ (中井久夫訳)	6,000	1999
みすず書房	4622041221	エランベルジェ著作集 2	アンリ・エランベルジェ (中井久夫訳)	6,000	1999
みすず書房	4622041238	エランベルジェ著作集 3	アンリ・エランベルジェ (中井久夫訳)	6,600	2000
弘文堂	4335650260	無意識の発見(上)	アンリ・エランベルジェ	5,600	1980
弘文堂	4335650277	無意識の発見(下)	アンリ・エランベルジェ	6,600	1980
思潮社	4783728191	新装版 パウル・ツェラン詩集	パウル・ツェラン(思飯吉光夫訳編)	1,942	1992
朝日新聞社	4022574916	溺れるものと救われるもの	ブリーモ・レーヴィ(竹山博英訳)	2,800	2000
白水社	4560092088	ベルリン終戦日記	アントニー・ビーヴァー序文、ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー後記(山本浩司訳)	2,600	2008
朝日新聞出版	4022504210	性犯罪被害にあうということ	小林美佳	1,200	2008
角川文庫	4043635016	菜摘ひかるの私はカメになりたい	菜摘ひかる	362	2001*
インパクト出版会	4755401589	かけがえのない、大したことのない私	田中美津	1,800	2005
三省堂	4385356570	薬害エイズ原告からの手紙	東京HIV訴訟原告団	1,455	1995*
医学書院	4260333887	べてるの家の「当事者研究」	浦河べてるの家	2,000	2005
ゆみる出版	4946509292	傷ついた物語の語り手	アーサー・W・フランク(鈴木智之訳)	2,800	2002
医学書院	4260007252	発達障害当事者研究	綾屋紗月・熊谷晋一郎	2,000	2008
医学書院	4260010047	リハビリの夜	熊谷晋一郎	2,000	2009
作品社	4878934469	多重人格者の心の内側の世界	バリー・M・コーエン/エステル・ギラー/リン・W編著(宮地尚子監訳)	3,600	2003*
特定非営利活動法人 ダルク女性ハウス	4990480202	Don't you? ~私もだよ~ からだのことを話してみました	ダルク女性ハウス当事者研究チーム「なまみーず」編	1,200	2009
太郎次郎社エディタス	4811807256	カミングアウト・レターズ	砂川秀樹・RYOJI編	1,700	2007
平凡社	4582454260	なぜ書きつけてきたか なぜ沈黙してきたか	金石範・金時鐘	2,400	2001

出版社	ISBN(978)	書名	著者名	本体価格	刊行
高文研	4874983942	新装版 母の遺したもの	宮城晴美	2,000	2008
岩波書店	4000227421	原爆体験	濱谷正晴	2,800	2005
イッシプレ ス	4900398351	売男日記	ハスラー・アキラ	1,200	2000 版元直
角川文庫	4043634019	心の傷を癒すということ	安克昌	600	2001*
誠信書房	4414402957	二次的外傷性ストレス	B・H・スタム編(小西聖子・ 金田ユリ子訳)	4,500	2003
大和書房	4479761488	ひと相手の仕事はなぜ 疲れるのか	武井麻子	1,500	2006
みすず書房	4622073390	環状島 = トラウマの地 政学	宮地尚子	2,800	2007
大月書店	4272420124	傷を愛せるか	宮地尚子	2,000	2010
誠信書房	4414429107	病いの語り	アーサー・クラインマン(江 口重幸ほか訳)	4,200	1996
春秋社	4393332917	33個めの石	森岡正博	1,500	2009
角川選書	4047033962	「待つ」ということ	鷺田清一	1,400	2006
講談社	4062118767	開かれた扉	ハンセン病違憲国賠訴訟弁 護団	1,800	2003*
三一書房	4380072031	新装改訂版 生きる勇気 と癒す力	エレン・バス/ローラ・デ イビス(原美奈子・二見れい 子訳)	5,500	2007
作品社	4861820137	少年への性的虐待	リチャード・B・ガートナー (宮地尚子監訳)	3,800	2005
明石書店	4750327198	医療現場におけるDV被 害者への対応ハンド ブック	宮地尚子	2,000	2008
みすず書房	4622071501	トラウマの医療人類学	宮地尚子	3,500	2005
金剛出版	4772408158	トラウマとジェンダー	宮地尚子編著	3,800	2004
大月書店	4272350278	性的支配と歴史	宮地尚子編著	2,800	2008
岩波書店	4000027915	癒しと和解への旅	坂上香	2,100	1999*
御茶の水書 房	4275008442	死者たちの戦後誌	北村毅	4,000	2009
ちくま文庫	4480027993	赤瓦の家	川田文子	660	1994*
未来社	4624111779	アメリカという記憶	マリタ・スターケン(岩崎稔 ほか訳)	3,800	2004
名古屋大学 出版会	4815804404	記念碑の語るアメリカ	ケネス・E・フット(和田光 弘ほか訳)	4,800	2002
三省堂	4385359359	負けた戦争の記憶	生井英考	2,000	2000

出版社	ISBN (978)	書名	著者名	本体価格	刊行
刀水書房	4887083523	ベトナム戦争のアメリカ	白井洋子	2,500	2006
講談社現代新書	4061495708	紛争の心理学	アーノルド・ミンデル(永沢哲監修/青木聡訳)	700	2001*
みすず書房	4622050285	黒い皮膚・白い仮面	フランツ・ファノン(海老坂武・加藤晴久訳)	3,400	1998
みすず書房	4622050049	地に呪われたる者	フランツ・ファノン(鈴木道彦・浦野衣子訳)	3,300	1996
岩波書店	4003233313	黒人のたましい	W・E・B・デュボイス(黄寅秀ほか訳)	860	1992
新思索社	4783511953	普及改訂版 精神と自然	グレゴリー・ベイトソン(佐藤良明訳)	2,000	2006
せりか書房	4796700436	改訂版 スティグマの社会学	アーヴィング・ゴッフマン(石黒毅訳)	2,000	2001
ちくまプリマー新書	4480687319	包帯クラブ	天童荒太	760	2006
角川文庫	4044281045	砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない	桜庭一樹	475	2009
角川文庫	4044253066	失はれる物語	乙一	551	2006
角川文庫	4042968016	燃えるスカートの少女	エイミー・ベンダー(管啓次郎訳)	551	2007
講談社文庫	4062739382	タトゥー・ガール	ブルック・スティーヴンズ(細美遥子訳)	932	2004
文春文庫	4167247010	オキナワの少年	東峰夫	388	1980*
新潮文庫	4101253329	西の魔女が死んだ	梨木香歩	400	2001
河出書房新社	4309709512	鉄の時代	J・M・クッツェー(くぼたのぞみ訳)	2,100	2008
集英社	4087734423	アフリカのひと——父の肖像	J・M・G・ル・クレジオ(菅野昭正訳)	1,800	2006
インスクリプト	4309903958	〈関係〉の詩学	エドゥアール グリッサン(管啓次郎訳)	3,700	2000*
講談社文庫	4062748155	新装版 苦海浄土	石牟礼道子著	667	2004
めるくまーる	4839700928	戦争の悲しみ	バオ・ニン(井川一久訳)	1,800	1997*
文春文庫	4167309794	本当の戦争の話をしよう	ティム・オブライエン(村上春樹訳)	648	1998
みすず書房	4622074236	アラブ、祈りとしての文学	岡真理	2,800	2008
青土社	4791762200	占領の記憶/記憶の占領	マイク・モラスキー(鈴木直子訳)	3,200	2006
双葉社	4575297447	夕凧の街 桜の国	こうの史代	800	2004

出版社	ISBN (978)	書名	著者名	本体 価格	刊行
白泉社文庫	4592882619 (第1巻)	Cipher (全7巻)	成田美名子	562～ 581	1997
白泉社文庫	4592884187	赤ちゃんと僕 (全10巻)	羅川真里茂	600	2001～ 2002
集英社文庫	4086172189	おしゃべり階段	くらもちふさこ	618	1996*
集英社文庫	4086178211 (第1巻)	イマジン (全7巻)	槇村さとる	各570	2002
集英社文庫	4087474220	イマジン・ノート	槇村さとる	513	2002
朝日新聞社	—	YES オノ・ヨーコ展 カ タログ	オノ・ヨーコ	—	2003
講談社文庫	4062637640	グ レ ー プ フ ル ー ツ ・ ジュース	オノ・ヨーコ (南風椎訳)	648	1998
淡交社	4473034151	マルレーネ・デュマス プロクタン・ホワイト	マルレーネ・デュマス (東京 都現代美術館／丸亀市猪熊 弦一郎現代美術館監修)	2,475	2007
岩波新書	4004309611	ディアスポラ紀行	徐京植	740	2005
ファイドン	4902593037	悪魔の遊び場	ナン・ゴールディン	7,980	2005
岩波書店	4000080590	人間の大地 労働	セバスティアン・サルガード (今福龍太訳)	14,000	1994*
蒼穹舎	4902137859	Scars	石内都	4,200	2005

*は、品切の可能性あります。

2009年度人文会活動報告

- 5/14 ☆第42回(2008年度)人文会総会
・場所：札幌京王プラザホテル
・出席者：正担当者18名 副担当者3名(内代理1名) 合計19社21名
14：30開始 17：45終了
議事：
①代表幹事挨拶／総会議長選出／2008年度活動全般報告(書記)／会計報告(会計)
②2008年度各委員会活動報告(販売委員会・広報委員会)
③休会・入会の承認：柏書房入会の承認／晶文社休会の了承
④委員会構成の変更：2委員会5グループ制を廃し、3委員会制に変更する案を承認
⑤役員改選
代表幹事：鎌内直行／会計幹事：平石修／書記幹事：新保卓夫
幹事：橋元博樹／田崎洋幸／吉武創
*委員会構成(◎委員長 ○副委員長)
販売・企画委員会：◎橋元博樹○華園斉・駒谷光彦・三橋直也・根井浩一
調査・研修委員会：◎田崎洋幸○桃野一郎・小倉研二・朝倉哲哉・富澤凡子
広報委員会：◎吉武創○三上直樹・成田共助・馬場正彦・大野友寛・和久津寛英
(総会幹事：駒谷光彦・三橋直也・小林丈生)
○書店懇親会
時間：18：30～20：00
会場：京王プラザホテル札幌
出席者：書店(4法人16名) 人文会(19社21名) 計37名
- 5/21 ○2009年度人文会新役員の取次店挨拶回り
幹事・三役(鎌内・平石・新保)
- 5/28 ○千代田図書館連続セミナー第2回「本を選ぶときのポイント」
講師：未來社代表取締役社長西谷能英氏
場所：千代田図書館
- 6/5 ☆幹事・副委員長会議
場所：春秋社 会議室 15：00～
- 6/11 ○人文会新体制の挨拶および紀伊國屋書店機構変更にもなる業務内容等の説明会
場所：紀伊國屋書店新宿本店 17：00～
・紀伊國屋書店：皆川文男氏(店売総本部和書仕入本部長・理事)／藤本仁史氏(和書仕入本副部長・理事)／今井太郎氏(同 販売促進2課課長)／築瀬裕子氏(同課長代理)／神津美穂氏(同 課長代理)

- ・人文会：幹事・副委員長(計8名)
- 6/18 ☆6月例会
場所：神田文化産業信用組合 15：00～
来会者：ジュンク堂書店澤樹伸也氏「難波店出店挨拶」
- 6/23 ○千代田図書館連続セミナー第3回「本を選ぶときのポイント」
講師：筑摩書房代表取締役専務熊沢敏之氏
場所：千代田図書館
- 6/24～7/29 ◎特約店グループ訪問
 - ・福島・山形・仙台 6/24～26
 - ・京都・滋賀 6/25～26
 - ・奈良・和歌山・大阪 7/23～25
 - ・福岡・熊本・鹿児島 7/27～29
- 7/15 ☆7月例会
場所：筑摩書房本社 会議室 15：00～
- 7/28 ○千代田図書館連続セミナー第4回「本を選ぶときのポイント」
講師：平凡社執行役員編集一部部長関口秀紀氏
場所：千代田図書館
- 8/5 ☆臨時幹事会／トーハンMD統括部との懇親会
場所：トーハン6F会議室 16：30～
トーハンMD統括部：MD統括部部长小川慎二郎氏／マネジャー田沼浩氏／AM森年弘氏／鈴木百合子氏
人文会：幹事他計17名
- 8/19 ☆8月例会
場所：筑摩書房本社 会議室 15：00～
- 8/24 ☆「2010年人文社会科学系出版5団体合同新年会」打ち合わせ会
場所：春秋社 会議室 13：30～
出席者：法経会(古澤悦雄)／歴史書懇話会(横井真木雄)／大学出版部協会(植村八潮・古川真)／国語・国文学出版会(白石タイ)／人文会(鎌内直行・新保卓夫)
- 8/25 ○千代田図書館連続セミナー第5回「本を選ぶときのポイント」
講師：東京大学出版会常務理事竹中英俊氏
場所：千代田図書館
- 9/15 ■人文会ニュース106号刊行
- 9/16 ☆9月例会
場所：筑摩書房本社 会議室 15：00～
- 9/29 ○千代田図書館連続セミナー第6回「本を選ぶときのポイント」
講師：みすず書房代表取締役社長持谷寿夫氏
場所：千代田図書館
- 10/14～16 ○2009人文会研修旅行

訪問地：名古屋・岐阜・豊橋・浜松

宿泊・研修・懇親会場：名鉄グランドホテル

合同研修会参加書店：11店舗12名／同行取次店：2社2名／人文会：19社20名

懇親会：18：00～20：30 書店：15店舗23名／取次店：3社7名

訪問書店：計17店

(旅行幹事 吉武・華園)

10/27 ○千代田図書館／人文会連続セミナー「本を選ぶときのポイント」番外編

『本作りのプロに聞く、本との出会い』

講師：前田求恭氏(吉川弘文館)／西谷能英氏(未来社)／熊沢敏之氏(筑摩書房)／
関口秀紀氏(平凡社)／竹中英俊氏(東京大学出版会)／持谷寿夫氏(みすず書房)／
新谷迪子氏(千代田図書館)

場所：千代田図書館特設イベントスペース 19：00～

・懇親会：21：20～22：30

11/18 ☆11月例会

場所：筑摩書房本社 会議室 15：00～

来会：大阪屋 秋山氏・鎌垣氏「名古屋ジュンク堂書店増床、帳合変更の説明」／
戸田書店呉服町店藤浪哲也氏「静岡本店開店についての説明」

12/10 ○人文会販売委員会／トーハン専門書グループとの打ち合わせ・懇親会

トーハン：MD統括部調整Gマネジャー田沼浩氏／AM森年弘氏／鈴木百合子氏

人文会：販売委員会他 計15名

12/18 ☆12月例会

場所：神田文化産業信用組合 15：00～

・例会終了後、神田揚子江菜館にて忘年会 18：00～

2010年

1/20 ☆1月例会

場所：筑摩書房本社 会議室 15：00～

来会：太洋社仕入部部长田中保秀氏「管理倉庫の説明」

1/29 ○2010年(第33回)人文社会科学系5団体合同新年会

ホテルメトロポリタンエドモント2F「悠久」の間 18：00～20：10

当番幹事団体：人文会

書店：22法人30名／取次店：9社34名／報道関係：4社4名 計35社58名

5団体：法経会／歴史書懇話会／大学出版部協会／国語・国文学出版会／人文会(50名)

計70社 141名 総勢199名

2/17 ☆2月例会

場所：筑摩書房本社 会議室 13：00～

2/25 ■人文会ニュース107号刊行

3/5 ○首都圏書店訪問(さいたま地区)

訪問書店：須原屋本店／須原屋コロン店／紀伊國屋書店浦和パルコ店／紀伊國屋書

店さいたま新都心店／ブック・デポ書楽／三省堂書店大宮店／ジュンク堂書店大宮
ロフト店

参加会社：16社16名

3/19 ○首都圏書店訪問(千葉地区)

紀伊國屋書店首都圏東営業部千葉営業所／三省堂書店そごう千葉店／くまざわ書店
津田沼店／丸善津田沼店／東京旭屋書店船橋店／三省堂書店船橋店／くまざわ書店
錦糸町店

参加会社：17社17名

3/17 ☆3月例会

場所：筑摩書房本社 会議室 15：00～

4/7 ○臨時幹事会

場所：神田「やぶ仙」 18：00～

「晶文社復会の確認と活動についての説明」 晶文社太田泰弘氏／人文会幹事(5名)

4/16 ○三省堂書店神保町本店「人文書編集者がおすすめする2009～10年この1冊」フェ
ア一総括

場所：神田「やぶ仙」 19：00～

三省堂書店：係長福澤いづみ氏・フェア担当大塚真祐子氏

人文会(11名)

4/21 ☆4月例会

場所：筑摩書房本社 会議室 15：00～

来会：ジュンク堂WEB書店《(株)HON》工藤淳也氏・稲村陽氏・原田亜紀子氏
「業務概要の説明」

(書記：新保卓夫)

第四三回（二〇〇九年度）人文会年次総会報告

書記 新保卓夫

第四三回の人文会年次総会は、平成二二年五月一四日に東京銀座「Sun.高松本店」において全会員社出席のもとに開催されました。

議事は、二〇〇九年度（二〇〇九年五月一日～二〇一〇年四月三日）の全般的な活動報告から始まり、会計報告、各委員会の活動報告と続き、新年度に向けての役員改選及び各委員会の所属メンバーを決定し、無事終了いたしました。

今総会において、二〇〇七年度から二年間にわたり代表幹事を務められた鎌内宣行氏（春秋社）が退任され、新代表幹事（第八代）には、全会一致で田崎洋幸氏（みすず書房）が選出されました。

会計幹事には平石修氏（御茶の水書房）、書記幹事には新保卓夫（誠信書房）が引き続き選出され、また、菊池明郎氏（筑摩書房）の会長留任が承認されました。

委員会構成は昨年同様、「販売・企画」「調査・研修」「広報」の三委員会体制を踏襲しつつも、様々な課題に迅速に対応するために各委員会の人的な交流も含め、連携を密にしていくことを確認しました。

幹事として、橋元博樹氏（東京大学出版会）《販売・企画委員長》、吉武創氏（勁草書房）《調査・研修委員長》、大野友寛氏（慶應義塾大学出版会）《広報委員長》が選出されました。

今総会より晶文社（太田氏）が復会し、草思社が退会となりました。

なお担当者変更の社は、春秋社（鎌内氏↓片桐氏）、筑摩書房（桃野氏↓廣井氏）、白水社（小倉氏↓岩

野氏)、法政大学出版局(成田氏↓古川氏)、未来社(和久津氏↓水谷氏)です。
委員会構成員の詳細は、巻末の「人文会名簿」をご参照ください。

委員会活動方針

販売・企画委員会

委員長 橋元博樹

幾度目かの「電子出版元年」を迎えた今年は、昨年の米国でのKindle発売に続いて、iPadの日本上陸などもあり、書物の電子化を促す社会的・技術的環境が進んでおりますが、おそらくは、比較的電子化との親和性が低い分野なのではないかと思われる人文書を、書店で、どのように、効果的に、販売するかという課題に、わたしたちは今期も向き合いたいと思います。

もとより、販売・企画委員会はこうした活動を、書店様、取次様とコンタクトをとりながら進めて参りました。書店店頭でのブックフェア、外商様と連携した図書館への販売促進、取次様とともに発信する書店様への情報提供……。出版販売とは、幾人ものひとたちの手による

連鎖的・協働的な営みであることを考えれば、今期もこうしたひとつひとつの販売施策を、各方面のみならず協力体制のもとさらに発展させていくことが、人文書の普及にとっても不可欠のことである、とあらためて考える次第でございます。

今期もよろしくおねがいたします。

委員会のメンバーは次の通りです。

富澤凡子(柏書房)

三橋直也(紀伊國屋書店)

○華園 斉(創元社)

廣井一茂(筑摩書房)

◎橋元博樹(東京大学出版会)

根井浩一(平凡社)

(◎委員長／○副委員長)

調査・研修委員会

委員長 吉武創

従来からあった研修などの活動に、昨期からは調査という仕事を加えて活動してきた調査・研修委員会ですが、今期も引き続き調査と研修を二つの柱として調査・研修委員会として活動していきます。

研修については、研修旅行で訪問する地域の書店様との研修会や、チェーン店別研修など、以前から行っている活動を継続するとともに、新しい研修の形についても検討したいと思います。

会員各社の常備店情報などをもとに新たに選定した特約店様に対して、今まで以上に特約店の担当者様と会員各社の双方の顔が見える関係を築きたいと思います。そのための特約店様のご意見・ご要望をお聞きする機会が出てくると思いますが、その際はぜひご協力ください。

調査と会員社間の情報の共有化という点では、会員社のなかで新規店の出品状況などの情報を交換する仕組み

を作り、販売に活用していきたいと思っています。

現在注目を集めている電子書籍についても、研修会の開催や、会員各社の取り組みについてアンケートなどを行い、情報を共有化し今後の活動に活かしていきたいと思っています。

最後になりましたが、書店様との関係をより深めるとともに会員各社の情報の共有化を目指していきたいと思っています。

委員会のメンバーは次の通りです。

◎吉武 創(勳草書房)

片桐幹夫(春秋社)

太田泰弘(晶文社)

◎朝倉哲哉(日本評論社)

古川 真(法政大学出版局)

水谷幹夫(未來社)

(◎委員長／○副委員長)

広報委員会

委員長 大野友寛

広報委員会の活動の柱は、「人文会ニュース」刊行と「ホームページ」運営の二つです。今期の広報委員会も、その二つを通じて、さらなる書店様への有用な情報発信を企図して活動してまいりたいと思います。

人文会の活動の特徴の一つとして、書店ご担当者様とのフェイス・トゥ・フェイスのお互い顔の見える中での活動、ということがあります。その中で広報委員会の活動は、残念ながら、その性格上、書店様と個別にお打ち合わせをしながら活動することは多くありません。しかし、「人文会ニュース」や「ホームページ」での情報発信においては、書店様とのコミュニケーションを基盤とする人文会の平素の活動をいかして、人文書の販売に役立つ記事やコンテンツを提供できるよう努力してまいります。また、特約店訪問のご報告など人文会の日々の活動について書店の皆様にお伝えするのも役割の一つです。

昨期リニューアルしたホームページの有効活用など今期の課題はいろいろありますが、一歩ずつ前進していきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

委員会のメンバーは次の通りです。

駒谷光彦(大月書店)

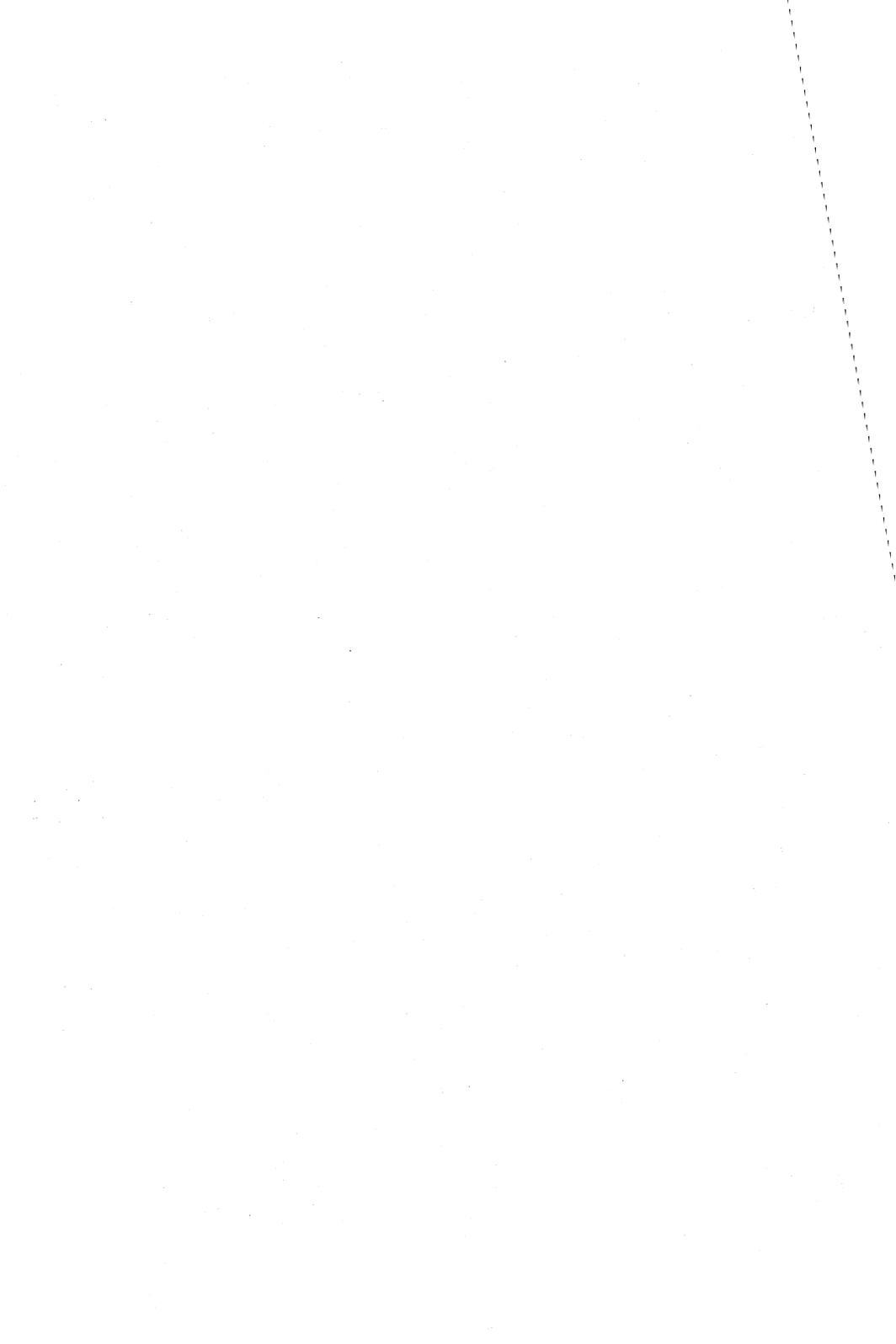
◎大野友寛(慶應義塾大学出版会)

岩野忠昭(白水社)

○三上直樹(ミネルヴァ書房)

馬場正彦(吉川弘文館)

(◎委員長／○副委員長)



二〇一〇年特約店グループ訪問報告

青森・弘前・盛岡方面

報告 大野友寛(慶應義塾大学出版会)

● 期日 六月二四日(木)～六月二五日(金)

● 参加メンバー 吉武(勤草書房)・廣井(筑摩書房)・橋元(東京大学出版会)・岩野(白水社)・三上(ミネルヴァ書房)・馬場(吉川弘文館)・大野(慶應義塾大学出版会)

● 訪問書店 【青森】宮脇書店青森本店・成田本店しんまち店【弘前】弘前大学生協SHAREA・紀伊國屋書店弘前店・紀伊國屋書店東北営業部弘前営業所【盛岡】東山堂三ツ割店・東山堂・さわや書店本店・ジュンク堂書店盛岡店・さわや書店フェザン店(計一〇店舗)

● 感想…ごくごく個人的な事から書かせていただくと、私の連れあいの実家は東北にあります。だから毎年、ではないにせよかなりの頻度で「こまち」には乗っています。

そんなわけで、今回訪問させていただいたエリアについても、勝手に親近感を持ちつつ、事情もわかっているような気になっていたのですが……。

最初の訪問地区は青森。新幹線開通を今年の一二月に控えて、地元では盛り上がっているのではないかとの思いとともに青森へ。ところが、お店でお話を伺うと新幹線の停まるのは新青森なので青森駅周辺にはかえってマインナス要因ではないか、とのこと。昨年開店の宮脇書店青森本店を、成田本店しんまち店が迎えうつかたちですが、あまり大きいとは言えないマーケットの中ですみわけが上手くいくかどうか。まだ棚作りの途中とのことでしたが、大胆なフェアスペースを作るなど、成田本店のリニューアルへの取り組みが印象的でした。

続いて弘前に移動。以前、駅前にあった宮脇書店は、入っていたショッピングビルの運営をしていた第三セクターの再建を市が断念した結果、突然ビルが閉鎖され、お店は売上が伸びていたにもかかわらず閉店した由。文

教都市、弘前。弘前大学生協では、アマゾンに走りがち
な大学の先生方の要望に応えるような品揃えに苦心して
おられました。ホントに大学の先生はアマゾンが好きで
すね。紀伊國屋書店弘前店は、以前と同じに専門書の割
合が高くて有り難いお店。とはいえ、まちの人口が減る
一方の中では書店は難しい、という店長のお言葉は、今
回の特約店訪問をしている間ずっと感じさせられたとこ
ろでもありました。また、弘前では、最近の人文会の恒
例となっている紀伊國屋書店の営業所訪問ということで、
外商の方にもお会いしました。弘前営業所は所長お一人
が営業マンという営業所で、所長の大変に熱のこもった
お話を伺っているとこちらも頑張らねばと思う一方、店
売とはまた違った意味で厳しい外売の現実を知らされる
ところ大でした。

最終日は、ヨードル号に乗って盛岡です。東山堂では、
訪問各社の個人名入りで「歓迎 人文会御一行様」、と店
頭に貼りだされていて、嬉しいやら恥ずかしいやら。社
長自らお出迎え下さいました。一方で、コミック売り場
を拡張して専門書を縮小という現場では、ジュンク堂と
の共存を模索する老舗のすがたがありました。そのジュ

ンク堂盛岡店は、いい意味でいつものジュンク堂書店の
品揃えで勝負しています。

今回の特約店訪問の二日間、電子書籍の話題など一度
もでなかったし、また考えもしないで過ごしました。本
を読む習慣のない人は(たぶん)、電子書籍も読まないで
しょう。出版業界では(ネットの前に敗北しそうな紙版を電子
版で巻き返そうとする新聞業界の煽動もあって)、今年は電子
書籍の話ばかりですが、まずは「読者」の数を減らさ
ないようにしなければどうしようもありません。そうい
う意味で、他の地区の特約店訪問を担当した二つのグ
ループとも「研修会」を実施していたのに対して、我々
のグループが、見学と情報交換をメインとする「特約店
訪問」のスタイルを踏襲してしまったのは、現場のニー
ズに当たっていないのでは、という反省が残りました。今
回、訪問させていただいた書店様には、お忙しい中、時
間を割いていただき、ありがとうございました。改めて
御礼申し上げます。そして今後ともどうぞよろしくお願
い申し上げます。

新潟・高崎・前橋方面

報告 根井浩一(平凡社)

●期日 六月二四日(木)～六月二五日(金)

●参加メンバー：平石(お茶の水書房)・富澤(柏書房)・華園(創元社)・朝倉(日本評論社)・古川(法政大学出版局)・根井(平凡社)

●訪問書店：【新潟市】新潟大学生協書籍部・萬松堂・紀伊國屋書店新潟店・ジュンク堂書店新潟店・戸田書店新潟南店・【高崎市】ジュンク堂書店高崎市・戸田書店高崎市 ブックマンズアカデミー高崎市・くまざわ書店高崎市 【前橋市】煥乎堂・紀伊國屋書店前橋店・ブックマンズアカデミー前橋店(計一二店舗)

●感想：世の中は、電子書籍をめぐる喧しい。グーグルのブック検索から始まって、アマゾンの読書端末・Kindルの発売、さらに二〇一〇年春にはアップル社が満を持してiPadを投入した。将来、日本語の書籍はどうなるのだろうか？ ケータイコミックはすでに流通し、ケー

タイ小説はひとときのブームを作った。日本国内で著作権の消滅した文芸作品も画面で読むことが出来る。直近の出来事をさらっても、大手出版社や経済・ビジネス系出版社が話題作を電子書籍でリリースした。そういうえば、先の(七月八日～二日)東京国際ブックフェアでのデジタルブリッシングフェアの大盛況振りはヒステリックでさえあった。新しいビジネスチャンスを求めるIT企業、ニッチを探し回る起業家たち。この大状況はあすの出版業界をどこへ連れていくのか？ ここで我々(出版社)は浮き足立ってはいけない。それでは、書店の現場はどうか？ 我々、新潟・群馬訪問グループがお伺いした書店は一二店。その一二店は浮き足立っていただろうか。そんなことはない。皆、地に足をつけて「本」を売っていた。売ろうと苦労されていた。勿論現実には甘くない。右肩下がりで落ち続ける売上と日々闘い、とりわけ販売効率のよくない人文書にどうお客の目を向かわせるか努力されていた。仕入れに神経をすり減らし、棚の見せ方を工夫し、魅力あるフェアの演出に心を砕いている。人手も時間も足りない。そんな彼らの叫びにこそ我々人文会は真剣に向き合わなければならない。新潟で

は夕方、市内六書店さんにお集まりいただき、勉強会をもった。“うちは新刊の見せ方をこうしている。”“東京で売れ始めている情報はこうキャッチしている。”“生き残りをかけた書店さんは出来る手を打っていると感じた。ライバル書店の成功を見れば、そのいいところを取り入れる。ことに地方の中心都市では大規模な郊外商業施設へのメガ店舗進出が潮流だ。勉強会での話を聞き、車で三つの都市の書店を巡りながら思ったことは書店の従業員の方と経営者の必死さに我々もついていかなければならないということだった。それが将来、活字メディアの販売が紙に寄りかからない形に変化していても、私たち出版社は書店との協業を続けていこう。これは私だけの感想ではないと思う。今回、訪問させていただいた一二軒の書店さんに感謝申し上げます。これからもよろしく願います。

静岡・浜松・豊橋・沼津方面

報告 田崎洋幸(みすず書房)

● 期日 六月二四日(木)～六月二五日(金)

● 参加メンバー 駒谷(大月書店)・三橋(紀伊國屋書店)・片桐(春秋社)・太田(晶文社)・新保(誠信書房)・水谷(未來社)・田崎(みすず書房)

● 訪問書店 静岡大学生協静岡店書籍部・戸田書店静岡本店・丸善新静岡店・江崎書店・谷島屋呉服町本店・紀伊國屋書店静岡営業部・谷島屋浜松本店・精文館書店本店・マルサン書店仲見世店(計九店舗)

● 感想…個人的には五年ぶりの静岡地区の訪問。耐震偽装問題で最初に使用禁止が決まったホテルが目抜き通りになり、当時話題になっていたことを思い出しました。

今回のハイライトは、静岡地区の書店様との研修会でした。参加頂いたのは、静岡大学生協の山本様、戸田書店静岡本店の藤浪様、江崎書店の渡辺様、谷島屋呉服町本店の三上様の四名。人文会からは七名が出席。計一一

名で行いました。

冒頭、未來社の水谷氏に、哲学・思想書売り伸ばすためのレクチャーをして頂きました。キャリアの長短、店頭在庫の差違などありますが、個々の店舗で応用が出来るように多くの資料を基にした丁寧な説明で、参加した書店の方々にとって大変有益であったと思われます。ぜひ可能な限り、自店の他ジャンルの担当者、自社他店の担当者にも伝えて頂きたいと思います。

その静岡地区ですが、戸田書店静岡本店様の再オープン、丸善新静岡店様の閉店が間近ということもあり、多少混沌としているように思われました。研修に参加頂いた書店様はそれぞれに个性的であり、棲み分けが可能に思えますがどうでしょうか。

ここ数年、訪問地の紀伊國屋書店営業部、営業所にお伺いしています。紀伊國屋書店が会員社であるので当然なのですが、なぜか今までは訪問していませんでした。人文会の活動と「外商」というイメージが重ならなかったことが理由かもしれません。ただ各社の商品特性から「図書館」はイメージしやすいので、協力体制が出来ていなかったことが不思議です。今回も短い時間ではあり

ましたが、中身のある意見交換が出来たと思います。須藤部長様、藤田様、橋野様にお世話になりました。

二日目は浜松、豊橋、沼津と駆け足の訪問となりました。谷島屋浜松本店様、精文館書店本店様には、全会員社が参加した昨秋の研修旅行でお邪魔しています。いずれの書店様も在庫が豊富で、地元のお客様にとって不可欠な存在です。今後も情報交換を密にし、販売増に繋げることが出ればと思います。

最後はマルサン書店仲見世店様でした。個人的に初めての訪問でしたので、とても楽しみにしておりました。堅実な品揃えにより、地元のお客様から信頼されていることがとてもよくわかりましたし、特色あるフェアを展開されていたことも印象的でした。

今回は時間に追われたスケジュールで、慌ただしい訪問となりました。その中で、静岡地区の書店様のみでしたが、研修会を行えたことは最大の収穫でした。今後、同様の研修会を通して、ご担当者のスキルアップに役立つことが出来ればと思います。

今回訪問させて頂いた書店様、研修会に参加頂いたご担当者様に、改めて御礼申し上げます。

人文会会員社 新刊のご案内

(2010.4~2010.8)

哲学・思想

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
〔哲学(事典・概論・哲学史)〕				
(ハイエク全集Ⅱ期 4巻) 哲学論集	F. A. ハイエク	4200	9784393621943	春 秋 社
(ハイエク全集Ⅱ期 10巻) 社会主義と戦争	F. A. ハイエク	4000	9784393622001	春 秋 社
〈動物のいのち〉と哲学	コーラ・ダイヤモンド	2800	9784393323298	春 秋 社
自由と行為の哲学	門脇俊介・野矢茂樹	3600	9784393323243	春 秋 社
哲学者とオオカミ	マーク・ローランズ	2400	9784560080566	白 水 社
はじめて学ぶ哲学・法思想	竹下賢ほか編著	2800	9784623056088	ミネルヴァ書房
〔倫理学〕				
平等の哲学 新しい福祉思想の扉をひらく	竹内章郎	2200	9784272430857	大 月 書 店
倫理と無限—フィリップ・モネとの対話	エマニュエル・レヴィナス	1000	9784480092809	筑 摩 書 房
〔古代哲学〕				
プレソクラティクス	エドワード・ハッセイ	2700	9784588009341	法 政 大 学 出 版 局
〔中世哲学〕				
エッセー 4	ミシェル・ド・モンテーニュ	2100	9784560025772	白 水 社
社会契約論	ジャン＝ジャック・ルソー	1200	9784560721179	白 水 社
〔近代哲学〕				
自由主義 福祉国家への思想的転換	L. T. ホブハウス	2500	9784272430864	大 月 書 店
ルソーの政治思想の特質	土橋貴	9000	9784275008961	御 茶 の 水 書 房
芸術の至高性	クリストフ・メンケ	7000	9784275008695	御 茶 の 水 書 房
社会主義の心理学	ヘンドリック・ド・マン	3800	9784760137947	柏 書 房
白水Uブックス 孤独と人生	アルトゥール・ショーペンハウアー	1400	9784560721131	白 水 社
(ビエール・ペール関連資料集 1) 抵抗と服従	野沢協編訳	16000	9784588120282	法 政 大 学 出 版 局

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
権威の概念	アレクサンドル・コジューヴ	2300	9784588009358	法政大学出版局
象徴形式の形而上学	エルンスト・カッシーラー	5500	9784588009419	法政大学出版局
認識問題	エルンスト・カッシーラー	8000	9784622031918	みすず書房
〔マルクス思想・批判理論〕				
(マルクス・フォー・ビギナー5)フォイエールバッハ論	マルクス=エンゲルス	1200	9784272005352	大月書店
レーニンの再検証 変革者としての真実	馳瀧弘	2200	9784272430871	大月書店
非体制順応的知識人(第三分冊)	アレックス・デミロヴィッチ	7000	9784275008732	御茶の水書房
ポストモダンの共産主義	スラヴォイ・ジジェク	900	9784480065575	筑摩書房
政治的無意識	フレドリック・ジェイムソン	2200	9784582766981	平凡社
エビクロスの園のマルクス	フランシス・マルコヴィッツ	2500	9784588009396	法政大学出版局
吐き気—ある強烈な感覚の理論と歴史—	ヴィンフリート・メニングハウス	8700	9784588009433	法政大学出版局
〔現象学・実存主義〕				
シモーヌ・ヴェイユの詩学	今村純子	2800	9784766417289	慶應義塾大学出版会
思想と実在・現代哲学への招待	M. ダメット	2700	9784393323205	春秋社
ショーペンハウアー哲学の再構築	ショーペンハウアー	3500	9784588009372	法政大学出版局
存在なき神	ジャン＝リュック・マリオン	4500	9784588009440	法政大学出版局
〔構造主義・ポスト構造主義〕				
ミシェル・フーコー講義集成 自己と他者の統治	ミシェル・フーコー	1800	9784480790521	筑摩書房
技術と時間2	ベルナルド・スティグレル	4000	9784588120732	法政大学出版局
〈死の欲動〉と現代思想	トッド・デュフレース	4800	9784622074434	みすず書房
〔論理学〕				
大出晃哲学論文集	大出晃	8000	9784766417425	慶應義塾大学出版会
〔分析哲学〕				
心の哲学	ティム・クレイン	3200	9784326102006	勁草書房
真理と述定	ドナルド・デイビッドソン	3200	9784393323168	春秋社
〔科学哲学〕				
科学思想史	金森修編著	6600	9784326101993	勁草書房
進化論はなぜ哲学の問題になるのか	松本俊吉編著	3200	9784326101986	勁草書房

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
デカルトの誤り	ダマシオ	1500	9784480093028	筑摩書房
記号と再帰	田中久美子	3600	9784130802512	東京大学出版会
〔東洋思想(インド含む)〕				
10のキーワードで味わう『論語』	安田登	1600	9784393436394	春秋社
下から目線で読む『孫子』	山田史生	700	9784480065605	筑摩書房
(平凡社ライブラリー 707) 朱子伝	三浦國雄	1400	9784582767070	平凡社
〔日本の哲学・思想(近世)〕				
現代語訳 武士道	新渡戸稲造	740	9784480065650	筑摩書房
やまところとは何か	田中英道	2800	9784623054299	ミネルヴァ書房
〔日本の哲学・思想(近代)〕				
月愛三昧 親鸞に聞く	高史明	9000	9784272430819	大月書店
福澤諭吉 家庭教育のすすめ	渡辺徳三郎	2400	9784766417593	慶應義塾大学出版会
〔日本の哲学・思想(戦後思想)〕				
(平凡社ライブラリー 701) 藤田省三セレクション	藤田省三	1600	9784582767018	平凡社
丸山眞男セレクション	杉田敦編	1600	9784582767001	平凡社
批評の人間性 中野重治	林淑美	3400	9784582834659	平凡社
〔日本の現代思想〕				
平和と和解の思想をたずねて	平和と和解の研究センター／足羽與志子・ 濱谷正晴・吉田裕編著	3400	9784272430840	大月書店
哲学という地図	檜垣立哉・村瀬鋼編著	2800	9784326154128	勁草書房
歴史の哲学	貫成人	3000	9784326199181	勁草書房
「おのずから」と「みずから」	竹内整一	2600	9784393312995	春秋社
闇屋になりそこねた哲学者	木田元	720	9784480427113	筑摩書房
現代思想の教科書—世界を考える知の地平15章	石田英敬	1300	9784480092793	筑摩書房
歴史・科学・現代	加藤周一	1100	9784480092946	筑摩書房
恋愛論	竹田青嗣	1100	9784480092922	筑摩書房
「おのずから」と「みずから」のあわい	竹内整一・金泰昌編	5800	9784130101165	東京大学出版会
ともに公共哲学する	金泰昌編著	3800	9784130101172	東京大学出版会

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
公共哲学を語りあう	金泰昌編著	3600	9784130101141	東京大学出版会
現代の公共哲学とヘーゲル	福吉勝男	3200	9784624011826	未来社
心 理				
【心理一般】				
考える絵本9 愛	落合恵子文、ワタナベケンイチ絵	1300	9784272406692	大月書店
高齢者がうつ病になるとき 予防とケアのために	西脇巽	1500	9784272612246	大月書店
歌手ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと	メリッサ・マルデ	2400	9784393499115	春秋社
急性腰痛と危険因子ガイド	ニュージーランド事故補償公団編	2000	9784393713785	春秋社
自分を好きになる技術 人を受け入れる技術	蓮村誠	1600	9784393365120	春秋社
実践入門 ポジティブ・サイコロジー	クリストファー・ピーターソン	2500	9784393365038	春秋社
愛すること、生きること 全訳『愛と心理療法』	M・スコット・ベック	1800	9784422114477	創元社
私の「うつ」を癒してくれた「禅」の教え—苦しみを成長に変える43のヒント—	フィリップ・マーティン	1600	9784422114422	創元社
心理学者に学ぶ 気持ちを伝え合う技術	榎本博明	1400	9784422114446	創元社
魂のライフサイクル 増補新版	西平直	2800	9784130133050	東京大学出版会
【基礎心理】				
知覚を測る—実験データで語る視覚心理学	大山正	2600	9784414301779	誠信書房
【社会心理】				
(展望現代の社会心理学 2) コミュニケーションと対人関係	相川充・高井次郎編著	4000	9784414301748	誠信書房
人間関係の心理 パースペクティブ	藤森立男	2800	9784414301786	誠信書房
学習の生態学	福島真人	3800	9784130111270	東京大学出版会
はじめて学ぶパーソナリティ心理学	小塩真司	2500	9784623056842	ミネルヴァ書房
【発達心理】				
アスペルガー症候群への解決志向アプローチ	V. ブリス、G. エドモンズ	2800	9784414306248	誠信書房
エピソードでつかむ 青年心理学	大野久編著	2600	9784623057375	ミネルヴァ書房
発達 123号		1200	9784623058372	ミネルヴァ書房

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔臨床心理〕				
グループアプローチ入門	安部恒久	2800	9784414400618	誠信書房
シナリオで学ぶ医療現場の臨床心理検査	津川律子・篠竹利和	2300	9784414400632	誠信書房
はじめてのカウンセリング入門 下	諸富祥彦	2200	9784414403695	誠信書房
はじめてのカウンセリング入門 上	諸富祥彦	1700	9784414403688	誠信書房
芸術と心理療法	ショーン・マクニフ	3800	9784414414387	誠信書房
子どもの精神分析的心理療法の基本	鶴飼奈津子	2600	9784414400601	誠信書房
心理臨床家の手引 [第3版]	鎌幹一郎・名島潤慈編著	3500	9784414400595	誠信書房
新・臨床心理士になるために [平成22年版]	(財)日本臨床心理士資格認定協会	1700	9784414400625	誠信書房
非行・子ども・家族との心理臨床	藤田博康	2600	9784414400588	誠信書房
「閉じこもり」から抜け出すには—不登校・ひきこもり・出社拒否のカウンセリング—	前川哲治	1600	9784422114439	創元社
思考活動の障害とロールシャッハ法	ジェームズ・H・クレージャー	8500	9784422114460	創元社
赤の書 THE RED BOOK	C・G・ユング著、ソヌ・シャムダサーニ編	40000	9784422114361	創元社
対人関係療法でなおす 双極性障害	水島広子	1500	9784422114637	創元社
対人関係療法の実際 DVD版	水島広子	10000	9784422670638	創元社
箱庭療法の心層	中道泰子	2800	9784422114415	創元社
名作童話の深層 オンデマンド版	森省二・氏原寛編	3400	9784422932873	創元社
臨床心理士のための子育て支援基礎講座	臨床心理士子育て支援合同委員会編	2600	9784422114453	創元社
医療心理臨床の基礎と経験	馬場謙一・福森高洋・松本京介	2600	9784535983229	日本評論社
家族療法の秘訣	東豊	2400	9784535562936	日本評論社
12人のカウンセラーが語る 12の物語	杉原保史・高石恭子編著	2000	9784623058181	ミネルヴァ書房
〔精神分析〕				
分析実践の進展	松本邦裕	3300	9784422114408	創元社
大人はウザい!	山脇由貴子	760	9784480688378	筑摩書房
最後の授業	北山修	1800	9784622075431	みすず書房
精神分析と美	D.メルツァー、M. H.ウィリアムズ	5200	9784622075509	みすず書房

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
〔精神医学〕				
パニック きっと上手くいく10の解決法	ランディ・マッケイブ、マーティン・M・アントニー	1500	9784422114811	創 元 社
大人のADD きっと上手くいく10の解決法	ステファニー・モールトン・サーキス	1500	9784422114835	創 元 社
内気・不安 きっと上手くいく10の解決法	マーティン・M・アントニー	1500	9784422114828	創 元 社
向精神薬開発の現状と課題	樋口輝彦+不安・抑うつ臨床研究会	2800	9784535983243	日 本 評 論 社
子どもの精神医学ハンドブック 第2版	清水將之	1900	9784535983267	日 本 評 論 社
精神科診断面接マニュアル 第2版	高橋三郎・北村俊則・岡野慎治	8500	9784535983281	日 本 評 論 社
精神鑑定事例集Ⅱ	中田修・小田晋・影山任佐・石井利文	8000	9784535562028	日 本 評 論 社
博士の奇妙な成熟	斎藤環	1800	9784535562868	日 本 評 論 社
夢をかなえる精神科リハビリテーション	白瀉光男・浅野智子	2000	9784535562882	日 本 評 論 社
もの忘れと認知症	J. C. ブライトン	3800	9784622075493	み す ず 書 房
失語症論	井村恒郎	3200	9784622082361	み す ず 書 房
性同一性障害	K. J. ズッカー、S. J. ブラッドレー	7600	9784622075325	み す ず 書 房
精神医学と疾病概念	臺弘・土居健郎編	3600	9784622082385	み す ず 書 房
統合失調症 2	中井久夫	3200	9784622082347	み す ず 書 房
妄想論	笠原嘉	3200	9784622082378	み す ず 書 房
精神医学から臨床哲学へ	木村敏	2800	9784623057511	ミネルヴァ書房
宗 教				
〔宗教一般〕				
宗教以前	高取正男	1100	9784480093011	筑 摩 書 房
〔キリスト教〕				
(修道院ライブラリー) 修道院の食卓	ペーター・ゼーヴァルト編/ガブリエラ・ヘルベル著	1400	9784422143880	創 元 社
修道院へようこそ—心の安らぎを手に入れるための11章—	ペーター・ゼーヴァルト編/ジモーネ・コーゾック著	1400	9784422143873	創 元 社

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
【仏教(インド・中国・チベット他)】				
(高崎直道著作集 第六卷) 如来像思想・仏性論	高崎直道	9500	9784393112861	春秋社
(高崎直道著作集 第七卷) 如来蔵思想 仏性論II	高崎直道	9500	9784393112878	春秋社
(親鸞全集 第四卷) 和讃 消息	石田瑞麿訳註	5000	9784393160299	春秋社
釈迦 最後の旅	ひろさちや	1700	9784393133866	春秋社
【仏教(日本)】				
近代日本の仏教者	小川原正道編著	3600	9784766417142	慶應義塾大学出版会
(親鸞全集 第一卷) 教行信証 上	石田瑞麿訳註	5000	9784393160268	春秋社
(親鸞全集 第二卷) 教行信証 下	石田瑞麿訳註	5000	9784393160275	春秋社
(親鸞全集 第三卷) 愚禿鈔 如来二種廻向文	石田瑞麿訳註	5000	9784393160282	春秋社
(親鸞全集 別巻) 欺異抄 恵信尼消息	石田瑞麿訳註	4000	9784393160305	春秋社
(法然全集 第一巻) 往生要集 他	大橋俊雄	6000	9784393174241	春秋社
(法然全集 第二巻) 選択本願念仏集 他	大橋俊雄	6000	9784393174258	春秋社
(法然全集 第三巻) 一枚起請文 他	大橋俊雄	6000	9784393174265	春秋社
遺教経講話	山田無文	1800	9784393141052	春秋社
坐禅に活かす『正法眼蔵』現代訳抄	窪田慈雲	4000	9784393153345	春秋社
新版 昭和・平成 禅僧伝	臨済会	3200	9784393141151	春秋社
親鸞 新版	亀井勝一郎	2000	9784393416129	春秋社
正法眼蔵雑文	正法眼蔵雑文編纂委員会編纂	15000	9784393112991	春秋社
聖徳太子 新版	亀井勝一郎	2100	9784393416129	春秋社
禅の逆襲 生老病死のなかの仏教	有馬頼底・対本宗訓	1500	9784393144183	春秋社
二十一世紀に生かす 真言密教の智慧	松長有慶	1500	9784393133873	春秋社
良寛 行に生きて行に死す	立松和平	1600	9784393136416	春秋社
シリーズ親鸞 1 歴史のなかの親鸞—真実のおしえを問う	名畑崇	1800	9784480320216	筑摩書房
シリーズ親鸞 2 親鸞が出遇った釈尊	小川一乗	1800	9784480320223	筑摩書房
シリーズ親鸞 5 親鸞の教化	一染真	1800	9784480320254	筑摩書房
シリーズ親鸞 6 親鸞の伝記	草野頭之	1800	9784480320261	筑摩書房

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
シリーズ親鸞7 親鸞の説法―「歎異抄」の世界	延塚知道	1800	9784480320278	筑 摩 書 房
増補 日蓮入門―現世を撃つ思想	末木文美士	900	9784480092762	筑 摩 書 房
仏教の身体感覚	久保田展弘	740	9784480065476	筑 摩 書 房
知っておきたい 名僧のことは事典 〔その他の宗教〕	中尾寛・今井雅晴編	2900	9784642080415	吉 川 弘 文 館
愛に抱かれて	大徳寺昭輝	1500	9784393291993	春 秋 社
トラーの名において	ヤコブ・M・ラブキン	5400	9784582702873	平 凡 社
(増補大神宮叢書 10) 神宮神事考證 補遺上 〔精神世界〕	神宮司庁蔵版	16000	9784642003902	吉 川 弘 文 館
インテグラル理論入門Ⅰ ウィルバーの意識論	鈴木規夫他	2200	9784393360552	春 秋 社
言霊力 人生を変える言葉のパワー	高田明和	1700	9784393713808	春 秋 社
古代ハワイアンの教え フナ：三つの自己に秘められたギフト	アーリン・J・マクドナルド	1800	9784393365090	春 秋 社
実践 インテグラル・ライフ 自己成長の設計図	ケン・ウィルバー	4200	9784393360538	春 秋 社
リトル・ビープル	ポール・ジョンソン	1200	9784422214771	創 元 社
歴 史				
〔歴史一般〕				
歴史学との出会い	速水融	2400	9784766417432	慶應義塾大学出版会
(伝統都市 1) イデア	吉田伸之・伊藤毅編	4800	9784130251310	東京大学出版会
(伝統都市 2) 権力とヘゲモニー	吉田伸之・伊藤毅編	4800	9784130251327	東京大学出版会
(伝統都市 3) インフラ	吉田伸之・伊藤毅編	4800	9784130251334	東京大学出版会
(伝統都市 4) 分節構造	吉田伸之・伊藤毅編	4800	9784130251341	東京大学出版会
京都古社寺辞典	吉川弘文館編集部編	3000	9784642080347	吉 川 弘 文 館
〔日本史(概論・通史・史料)〕				
(絵本 日本女性史 4) 学習の手引き	野村育世・関民子・早川紀代編著	2000	9784272406845	大 月 書 店
史学概論	遅塚忠躬	6800	9784130211000	東京大学出版会
日本の歴史 近世・近現代編	藤井譲治・伊藤之雄編著	2800	9784623055913	ミネルヴァ書房

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
(史跡で読む日本の歴史 8) アジアの中の日本	服部英編	2800	9784642064163	吉 川 弘 文 館
古文書の語る地方史	佐藤孝之編	2800	9784642080439	吉 川 弘 文 館
古文書研究 第69号	日本古文書学会編	3800	9784642087650	吉 川 弘 文 館
〔日本考古〕				
日本人とはなにか—考古学がいま語れること	安斎正人	2600	9784760138203	柏 書 房
よくわかる考古学	松藤和人・門田誠一編著	3000	9784623055630	ミネルヴァ書房
(史跡で読む日本の歴史 2) 古墳の時代	岸本直文編	2800	9784642064101	吉 川 弘 文 館
(歴史文化ライブラリー 297) 古代壁画の世界	百橋明穂	1700	9784642056977	吉 川 弘 文 館
三角縁神獣鏡研究事典	下垣仁志	9500	9784642014540	吉 川 弘 文 館
〔日本史(古代)〕				
平城京一三〇〇年「全検証」	渡辺晃宏	2900	9784760137404	柏 書 房
倭人伝を読みなおす	森浩一	740	9784480065582	筑 摩 書 房
邪馬壹国の論理	古田武彦	2800	9784623052165	ミネルヴァ書房
(古代の都 2) 平城京の時代	田辺征夫・佐藤信編	2800	9784642062923	吉 川 弘 文 館
(史跡で読む日本の歴史 5) 平安の都市と文化	増淵徹編	2800	9784642064132	吉 川 弘 文 館
(日本の対外関係 1) 東アジア世界の成立	荒野泰典・石井正敏・村井章介編	5500	9784642017015	吉 川 弘 文 館
(歴史文化セレクション) 古代蝦夷を考える	高橋富雄	2300	9784642063647	吉 川 弘 文 館
(歴史文化ライブラリー 303) 日本国号の歴史	小林敏男	1700	9784642057035	吉 川 弘 文 館
古事類苑新仮名索引	倉本一宏編	13000	9784642014564	吉 川 弘 文 館
平安宮廷の儀礼文化	末松剛	11000	9784642024754	吉 川 弘 文 館
〔日本史(中世)〕				
無縁所の中世	伊藤正敏	740	9784480065452	筑 摩 書 房
中世東国の道と城館	齋藤慎一	8600	9784130201476	東京大学出版会
三条天皇	倉本一宏	2800	9784623057887	ミネルヴァ書房
(永青文庫叢書) 細川家文書 中世編	熊本大学文学部附属永青文庫研究センター編	16000	9784642014113	吉 川 弘 文 館
(日本の対外関係 4) 倭寇と「日本国王」	荒野泰典・石井正敏・村井章介編	6000	9784642017046	吉 川 弘 文 館
(歴史文化セレクション) 中世の神仏と古道	戸田芳実	2100	9784642063654	吉 川 弘 文 館

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
(歴史文化ライブラリー 295) 鎌倉大仏の謎	塩澤寛樹	1800	9784642056953	吉川弘文館
(歴史文化ライブラリー 299) 鎌倉源氏三代記	永井晋	1800	9784642056991	吉川弘文館
(歴史文化ライブラリー 301) 都市鎌倉の中世史	秋山哲雄	1700	9784642057011	吉川弘文館
室町幕府軍制の構造と展開	吉田賢司	13000	9784642028899	吉川弘文館
〔日本史(近世)〕				
日本人と参勤交代	コンスタンチン・ヴァポリス	4800	9784760138210	柏書房
江戸東京を支えた舟運の路	難波匡甫	3200	9784588780028	法政大学出版局
(〈江戸〉の人と身分 1) 都市の身分願望	宇佐美英機・藪田貫編	3000	9784642065665	吉川弘文館
(〈江戸〉の人と身分 2) 村の身分と由緒	白川部達夫・山本英二編	3000	9784642065672	吉川弘文館
(〈江戸〉の人と身分 4) 身分のなかの女性	柳谷慶子・藪田貫編	3000	9784642065696	吉川弘文館
(史跡で読む日本の歴史 9) 江戸の都市と文化	岩淵令治編	2800	9784642064170	吉川弘文館
(人物叢書 265) 松平信綱	大野瑞男	2100	9784642052580	吉川弘文館
(日本歴史叢書 66) 佐賀藩	藤野保	2900	9784642066655	吉川弘文館
(歴史文化ライブラリー 300) 近世の仏教	末木文美士	1700	9784642057004	吉川弘文館
〔日本史(近代)〕				
植民地・朝鮮の子どもたちと生きた教師 上甲米太郎	高麗博物館編、上甲まち子・李俊植・辻弘範・樋口雄一	2400	9784272540471	大月書店
(日中戦争の国際共同研究 3) 日中戦争期中国の社会と文化	エズラ・ヴォーゲル・平野健一郎編	5800	9784766417586	慶應義塾大学出版会
「戦艦大和」の最期、それから	千早耿一郎	950	9784480427434	筑摩書房
栗本鋤雲	小野寺龍太	3500	9784623057658	ミネルヴァ書房
斎藤茂吉	品田悦一	3000	9784623057825	ミネルヴァ書房
西周	清水多吉	2800	9784623057740	ミネルヴァ書房
大正期の家族問題	湯沢雅彦	3500	9784623056682	ミネルヴァ書房
幕末・明治日仏関係史	R. シムズ	6500	9784623056040	ミネルヴァ書房
(人物叢書 264) 山本五十六	田中宏巳	2100	9784642052573	吉川弘文館
(歴史文化セレクション) 日本開国史	石井孝	2800	9784642063616	吉川弘文館
(歴史文化セレクション) 明治維新の再発見	毛利敏彦	1900	9784642063623	吉川弘文館

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
(歴史文化ライブラリー 296) 昭和天皇側近たちの戦争	茶谷誠一	1700	9784642056960	吉川弘文館
(歴史文化ライブラリー 298) 博覧会と明治の日本	國雄行	1700	9784642056984	吉川弘文館
(歴史文化ライブラリー 302) 「国民歌」を唱和した時代	戸ノ下達也	1700	9784642057028	吉川弘文館
(歴史文化ライブラリー 304) 流行歌の誕生	永嶺重敏	1700	9784642057042	吉川弘文館
〈主婦〉の誕生	木村涼子	4800	9784642037969	吉川弘文館
近代日本社会と公娼制度	小野沢あかね	9000	9784642037938	吉川弘文館
事典 有名人の死亡診断 近代編	服部敏良	3000	9784642080354	吉川弘文館
満洲国のビジュアル・メディア	貴志俊彦	2800	9784642080361	吉川弘文館
満洲紳士録の研究	小峰和夫	12000	9784642037952	吉川弘文館
〔日本史(現代)〕				
沖繩戦が問うもの	林博史	1800	9784272520824	大月書店
原爆の記憶	奥田博子	3800	9784766417258	慶應義塾大学出版会
六〇年安保	大井浩一	3200	9784326351497	勁草書房
歴史と記憶の抗争	ハリー・ハルトゥーニアン	4800	9784622074397	みすず書房
北一輝	岡本幸治	3000	9784623058365	ミネルヴァ書房
(歴博フォーラム) 高度経済成長と生活革命	国立歴史民俗博物館編	3000	9784642080378	吉川弘文館
〔地方史・郷土史〕				
絵はがきで読む大大阪	橋爪紳也	1600	9784422250595	創元社
大阪の橋ものがたり	伊藤純・橋爪節也・船越幹央・八木滋	1600	9784422250588	創元社
〔民俗学〕				
季刊 東北学 第23号	東北芸術工科大学東北文化研究センター	1905	9784760138401	柏書房
季刊 東北学 第24号	東北芸術工科大学東北文化研究センター	1905	9784760138661	柏書房
日本の生活環境文化大事典	日本民俗建築学会編	15000	9784760138180	柏書房
平安京のコスモロジー—千年持続首都の秘密—ここ	鎌田東二編著	2800	9784422112213	創元社
ろの未来選書				
宮本常一が見た日本	佐野真一	950	9784480427014	筑摩書房
(私の秘本地図 11) 阿蘇・球磨	宮本常一	2200	97846224924966	未來社
日本人の宗教と動物観	中村生雄	2600	9784642080408	吉川弘文館

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
放鷹 新装版 〔日本文化史(論)〕	宮内省式部職編纂	20000	9784642081931	吉川弘文館
語り合うにつぼんの知恵	高田公理	1500	9784422230276	創元社
寝殿造の研究 新装版	太田静六	30000	9784642024761	吉川弘文館
日本神道史	岡田荘司編	3500	9784642080385	吉川弘文館
日本婦人洋装史 新装版 〔文化人類学〕	中山千代	20000	9784642014557	吉川弘文館
猫と魔術と神話事典 (平凡社ライブラリー 705) 幻のアフリカ	M・O・ハウイ ミシェル・レリス	2500 2800	9784760136636 9784582767056	柏書房 平凡社
〔世界史(概論・通史・史料)〕 オセアニアを知る事典 新版	石川栄吉・越智道雄・小林泉ほか監修	5200	9784582126396	平凡社
歴史の場 〔世界史(ヨーロッパ)〕	若尾祐司・和田光弘編著	6500	9784623057344	ミネルヴァ書房
ビスマルクと大英帝国	飯田洋介	4500	9784326200504	勁草書房
19世紀ドイツの軍隊・社会・国家	ラルフ・プレーヴェ	3000	9784422202877	創元社
私と西洋史研究	川北稔	2500	9784422202884	創元社
ヴェネツィア・ミステリーガイド	市口桂子	2200	9784560080887	白水社
ヴェルサイユ宮殿に暮らす	ウィリアム・リッチー・ニュートン	2400	9784560080726	白水社
ディオクレティアヌスと四帝統治	ベルナルド・レミィ	1050	9784560509487	白水社
建築家ムッソリーニ 独裁者が夢見たファシズムの都市	パオロ・ニコロージ	4600	9784560080603	白水社
ギョーム・ボステル	ウィリアム・J. ブースマ	4900	9784588009402	法政大学出版局
ヨーロッパの覇権とユダヤ人	度會好一	3700	9784588352287	法政大学出版局
カチンの森	ヴィクトル・ザスラフスキー	2800	9784622075394	みすず書房
文明の作法 〔世界史(アメリカ、南北を含む)〕	木村俊道	6500	9784623056316	ミネルヴァ書房
アメリカと戦争 1775-2007 「意図せざる結果」の歴史	ケネス・J・ヘイガン、イアン・J・ピッカートン	2800	9784272530427	大月書店

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔世界史(アジア)〕				
毛沢東 ある人生(下)	フィリップ・ショート	3000	9784560080825	白水社
毛沢東 ある人生(上)	フィリップ・ショート	2800	9784560080818	白水社
(平凡社ライブラリー704)我々はなぜ戦争をしたのか	東大作	1200	9784582767049	平凡社
光州事件で読む現代韓国 増補	真鍋裕子	2800	9784582454383	平凡社
〔世界史(その他)〕				
冷戦終焉20年	塩川伸明	2800	9784326351534	勁草書房
サッカーが勝ち取った自由	チャック・コール、マービン・クローズ	2000	9784560080641	白水社
〔世界文化史〕				
世界で最も危険な書物—グリモワールの歴史	オーウェン・デイビーズ	4800	9784760138425	柏書房
モンスターの歴史	ステファヌ・オードギー	1600	9784422212081	創元社
「理科」で歴史を読みなおす	伊達宗行	820	9784480065223	筑摩書房
ゴンドラの文化史	アレックスandro・マルツォ・マーニョ	2800	9784560080849	白水社
熊 人類との「共存」の歴史	ベルント・ブルンナー	2400	9784560080856	白水社
(歴史文化セレクション)ベルニーニ	石鍋真澄	3300	9784642063630	吉川弘文館

社 会

〔社会学一般〕				
現代中国政治と労働社会	石井知章	2500	9784275008770	御茶の水書房
報道現場	朝日新聞社ジャーナリスト学校・慶應義塾 大学メディア・コミュニケーション研究所編	2000	9784766417616	慶應義塾大学出版会
シュタイナー社会問題の核心	ルドルフ・シュタイナー	2400	9784393325421	春秋社
質的研究の方法	波平恵美子	2000	9784393332924	春秋社
(講座社会学11)福祉	直井道子・平岡公一編	3800	9784130551113	東京大学出版会
変革する多文化主義へ	塩原良和	3000	9784588603129	法政大学出版局
フィールドワーク探求術	西川麦子	2200	9784623056873	ミネルヴァ書房
文化のグローバル化	丸山哲央	2800	9784623057399	ミネルヴァ書房

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔社会学理論〕				
マス・コミュニケーション研究	デニス・マクウェール	8000	9784766416664	慶應義塾大学出版会
三層モラルコンフリクトとオルトエリート	遠藤薫	3000	9784326653485	勁草書房
エスノグラフィー入門	小田博志	3000	9784393499115	春秋社
社会ネットワークリサーチ・メソッド	平松闊・鶴飼孝造・宮垣元・星敦士	2800	9784623056439	ミネルヴァ書房
地域から生まれる公共性	田中重好	5000	9784623057702	ミネルヴァ書房
調査研究法ガイドブック	S. M. メリアム、E. L. シンプソン	3500	9784623057993	ミネルヴァ書房
〔家族〕				
健やかにさよなら	羽成幸子	1600	9784393333006	春秋社
〔福祉〕				
ピンピンコロリ7つの秘訣 いますぐできる健康長寿の極意	笠原浩	1600	9784272612239	大月書店
コミュニティのちから	今村晴彦・園田紫乃・金子郁容	2500	9784766417524	慶應義塾大学出版会
音楽で寄り添うということ	新倉晶子	1900	9784393935521	春秋社
アトリエインカーブー現代アートの魔球ー	今中博之監修／神谷梢著	1800	9784422700243	創元社
一人でもだいじょうぶ 晴ればれ冬じたく	おちとよこ	1600	9784535562929	日本評論社
コミュニケーション技術	野村豊子	2400	9784623052929	ミネルヴァ書房
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	岩間伸之ほか編著	2800	9784623053919	ミネルヴァ書房
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	岩間伸之ほか編著	2600	9784623053926	ミネルヴァ書房
よくわかる医療福祉	小西加保留・田中千枝子編	2500	9784623055746	ミネルヴァ書房
介護福祉士合格ワークブック2011 下巻	高橋幸三郎監修	2800	9784623058112	ミネルヴァ書房
介護福祉士合格ワークブック2011 上巻	高橋幸三郎監修	2800	9784623058105	ミネルヴァ書房
学校ソーシャルワーク実践	門田光司	3500	9784623057009	ミネルヴァ書房
韓国介護保険制度の創設と展開	林春植・宣賢奎・住居広士編著	5500	9784623057160	ミネルヴァ書房
後期高齢者医療制度を再考する	松村眞吾・冨井淑夫編著	2200	9784623057146	ミネルヴァ書房
高等教育における聴覚障害者の自立支援	吉田仁美	6500	9784623057504	ミネルヴァ書房
高齢者に対する支援と介護保険制度	岡田進一・橋本正明編著	2600	9784623053971	ミネルヴァ書房
参加と連帯のセーフティネット	埋橋孝文・連合総合生活開発研究所編	3200	9784623057832	ミネルヴァ書房

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
児童家庭福祉	福田公教・山縣文治編著	1800	9784623056828	ミネルヴァ書房
社会の理解	石川久展・所道彦編	2600	9784623052905	ミネルヴァ書房
社会政策 第5号	社会政策学会編	2500	9784623058167	ミネルヴァ書房
社会的養護	小池由加・山縣文治編著	1800	9784623056699	ミネルヴァ書房
社会福祉	石田慎ニ・山縣文治編著	1800	9784623056811	ミネルヴァ書房
社会福祉コンパクト六法2010	山縣文治監修	2000	9784623056262	ミネルヴァ書房
社会福祉士合格ワークブック2011 共通科目編	馬場茂樹監修	3000	9784623058099	ミネルヴァ書房
社会福祉士合格ワークブック2011 専門科目編	馬場茂樹監修	3000	9784623058082	ミネルヴァ書房
就労支援	朝日雅也・布川日佐史編著	2600	9784623054022	ミネルヴァ書房
相談援助の基盤と専門職	大橋謙策ほか編著	2400	9784623053902	ミネルヴァ書房
保健医療サービス	小山秀夫ほか編著	2600	9784623054015	ミネルヴァ書房
老いとこころのケア	佐藤眞一ほか編著	3000	9784623057689	ミネルヴァ書房
【環境問題】				
食とたねの未来をつむぐ わたしたちのマニフェスト	ヴァンダナ・シヴァ編著	1500	9784272330652	大 月 書 店
生きるためのメディア 知覚・環境・社会の改編に向けて	渡邊淳司編著	2600	9784393332764	春 秋 社
地球温暖化スキャンダル	スティーブン・モシャー、トマス・フラー	2200	9784535786523	日 本 評 論 社
用水のある町—東京都日野市・水の郷づくりのゆくえ—	西城戸誠・黒田暁編著	3200	9784588780035	法 政 大 学 出 版 局
ローカル・コモন্ズの可能性	三俣学・菅豊・井上真編著	3800	9784623057597	ミネルヴァ書房
【現代社会】				
(戦後世界と日本資本主義3)戦後日本資本主義と平成金融 “恐慌”	相沢幸悦	2800	9784272102433	大 月 書 店
アップタウン・キッズ ニューヨーク・ハーレムの公営団地とストリート文化	テリー・ウィリアムズ、ウィリアム・コーンブルム	3600	9784272350339	大 月 書 店
エル・ネグロと僕 剥製にされたある男の物語	フランク・ヴェスターマン	2400	9784272600496	大 月 書 店
しんしんと、ディーブエコロジー ゆっくりノートブック7	アンニャ・ライト、辻信一	1200	9784272320370	大 月 書 店
改訂新版 岐路に立つ日本経済	北村洋基	2600	9784272140589	大 月 書 店

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
国民的最低限(ナショナルミニマム)保障 貧困と停滞からの脱却	小越洋之助・黒川俊雄・真嶋良孝・増田正人	3200	9784272310487	大月書店
世界の「平和憲法」 新たな挑戦	笹本潤	1600	9784272211029	大月書店
韓国併合と同祖神話の破綻	本山美彦	700	9784275008879	御茶の水書房
中国学の魅力	鈴木陽一・孫安石・蘇智良・陳天璽	900	9784275008923	御茶の水書房
二〇世紀崩壊とユーゴスラヴィア戦争	岩田昌征	4200	9784275008954	御茶の水書房
NHK、鉄の沈黙はだれのために一番組改変事件10年目の告白	永田浩三	2000	9784760138418	柏書房
共感の時代へ	フランス・ドゥ・ヴァール	2200	9784314010634	紀伊國屋書店
(労働 持続可能な福祉社会へ3) 公共性の視座から	安孫子誠男・水島治郎編著	2800	9784326348824	勁草書房
手塚治虫とオキナワ	浜本彦彦	2300	9784393342022	春秋社
「暴力団壊滅」論ーヤクザ排除社会の行方	猪野健治	1800	9784480818300	筑摩書房
とりあえず分かる! 世界の紛争地図	ポプ・ハリス	1200	9784480093042	筑摩書房
ニッポンの海外旅行	山口誠	780	9784480065599	筑摩書房
地域再生の罫	久繁哲之介	780	9784480065629	筑摩書房
日本のナショナリズム	松本健一	680	9784480065506	筑摩書房
年金は本当にもらえるのか?	鈴木亘	780	9784480065612	筑摩書房
内務省の歴史社会学	副田義也編	6200	9784130561075	東京大学出版会
(文庫クセジュ) 医療制度改革 先進国の実情とその課題	ブルーノ・パリエ	1050	9784560509463	白水社
戦禍のアフガニスタンを犬と歩く	ローリー・スチュワート	2800	9784560080627	白水社
シャッター通り再生計画	足立基浩	2000	9784623057177	ミネルヴァ書房
ハイパー・カルチャー	S. パートマン	4000	9784623055968	ミネルヴァ書房
若者の働く意識はなぜ変わった	岩間夏樹	2200	9784623056460	ミネルヴァ書房
情報を読む力、学問する	長尾真	2800	9784623058402	ミネルヴァ書房
情報社会とコミュニケーション	茨木正治ほか編著	2400	9784623057047	ミネルヴァ書房
選挙演説の言語学	東照二	2400	9784623057818	ミネルヴァ書房
反米の系譜学	J. W. シーザー	5500	9784623052462	ミネルヴァ書房

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
〔日本論・日本人論〕				
14歳からの靖国問題	小菅信子	760	9784480688446	筑 摩 書 房
ニッポン若者論—よさこい、キャバクラ、地元志向	三浦展	780	9784480426956	筑 摩 書 房
高校生からのゲーム理論	松井彰彦	760	9784480688385	筑 摩 書 房
すぎされない過去	井出孫六	2800	9784622075400	み す ず 書 房
何処へ行くのか、この国は	村田良平	2000	9784623057221	ミネルヴァ書房
甦るドストエフスキーの世紀	勝田吉太郎	3000	9784623057276	ミネルヴァ書房

教 育 学

〔教育学・教育論〕				
改訂新版 教育としての学校事務 子どもの学習発達保障のために	柳原富雄+制度研編	2000	9784272412068	大 月 書 店
生活とあそびで育つ子どもたち 河添理論の保育実践	丸山美和子監修	1600	9784272412082	大 月 書 店
日本の民主教育2009	みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい—教育研究全国集会2009実行委員会編	2800	9784272406340	大 月 書 店
非才！—あなたの子どもの勝者にする成功の科学	マシュー・サイド	1900	9784760138388	柏 書 房
日本語学習のエスノメソドロジー	杉原由美	3000	9784326250646	勁 草 書 房
これからのシュタイナー幼児教育	入間カイ	1700	9784393322277	春 秋 社
やる気を育てる子育てコーチング	武田建	1200	9784422114484	創 元 社
デジタル教材の教育学	山内祐平編	3200	9784130520799	東 京 大 学 出 版 会
友だちってなんだらう	佐々木正美・岡崎勝	1500	9784535562905	日 本 評 論 社
現代日本の大学革新—教学改革と法人経営—	清成忠男	3500	9784588682117	法 政 大 学 出 版 局
ESDをつくる	生方秀紀ほか編著	2800	9784623057665	ミネルヴァ書房
よくわかる生徒指導・キャリア教育	小泉令三編著	2400	9784623056156	ミネルヴァ書房
新しい学びを拓く数学科授業の理論と実践	岩崎秀樹編著	3000	9784623057627	ミネルヴァ書房
新しい時代の特別活動	相原次男ほか編著	2400	9784623057641	ミネルヴァ書房
〔図書館・博物館学〕				
貴重書デジタルアーカイブの実践技法	櫻村雅章	4000	9784766417333	慶應義塾大学出版会

書名・シリーズ名	著者	本体	ISBN	出版社名
〔教育問題〕				
(子育てと健康シリーズ 28) こどもの予防接種 知っておきたい基礎知識	金子光延	1400	9784272403288	大月書店
(子育てと健康シリーズ 29) 乳幼児の「かしこさ」とは何か 豊かな学びを育む保育・子育て	鈴木佐喜子	1600	9784272403295	大月書店
不登校セラピー 再登校率88%のカウンセリング	新井てるかず	1800	9784272412075	大月書店
〔障害児教育〕				
アスペルガーと呼ばれるあなたへ〔青年向け〕生活・仕事・人間関係ワークブック	エレン・S・ヘラーコリン	2000	9784272412099	大月書店
きく・みる・かんじるの療育	内山登紀夫監修	2500	9784623057108	ミネルヴァ書房
て・ゆびの療育	日原信彦監修	2500	9784623057092	ミネルヴァ書房
子どもの発達障害・適応障害とメンタルヘルス	安藤美華代ほか編著	2800	9784623057672	ミネルヴァ書房
現代の批評・評論				
〔表象文化論〕				
語り得ぬもの：村上春樹の女性表象	渡辺みえこ	1400	9784275008398	御茶の水書房
響き合う異次元	川田順造	2800	9784582702712	平凡社
〔カルチュラル・スタディーズ〕				
実践！交渉学—いかに合意形成を図るか	松浦正浩	740	9784480065421	筑摩書房
深く「読む」技術—思考を鍛える文章教室	今野雅方	1100	9784480092915	筑摩書房
〔歴史認識・ナショナリズム論〕				
戦後論	伊東裕吏	2600	9784582702507	平凡社
〔国家論・帝国論〕				
日本の理想 ふじのくに	川勝平太	1900	9784393312971	春秋社
世界がわかる石油戦略	岩間敏	760	9784480065445	筑摩書房
〔文学・芸術批評／理論〕				
ジョン・ラスキンと地の大聖堂	アンドレ・エラル	5800	9784766417494	慶應義塾大学出版会
科学する詩人 ゲーテ	石原あえか	2800	9784766417272	慶應義塾大学出版会

書名・シリーズ名	著 者	本体	ISBN	出 版 社 名
小林秀雄	越知保夫	2400	9784766417388	慶應義塾大学出版会
アンナ・マグダレーナ・バッハ	マリア・ヒューブナー	2200	9784393937822	春 秋 社
インスピレーション	ジョナサン・ハーヴェイ	2500	9784393931905	春 秋 社
バルトーク 子供のために 演奏と解釈	山崎孝	2500	9784393937839	春 秋 社
音楽の生まれるとき	井阪紘・西村朗	2200	9784393935446	春 秋 社
音楽は社会を映す 考える耳「再論」	渡辺裕	1800	9784393935569	春 秋 社
音楽宇宙論への招待	茂木一衛	2500	9784393935514	春 秋 社
世間はやかん	立川談志	1524	9784393436837	春 秋 社
西行 求道の境涯	佐竹温知	1500	9784393434420	春 秋 社
旋法論 楽理の探究	東川清一	3800	9784393930267	春 秋 社
現代写真論	シャーロット・コットン	2600	9784794967503	晶 文 社
土曜日は灰色の馬	恩田陸	1900	9784794967510	晶 文 社
エゴン・シーレー 傷を負ったナルシスー	ジャン＝ルイ・ガイユマン	1600	9784422212074	創 元 社
英仏文学戦記	斎藤兆史・野崎愼	2200	9784130830539	東京大学出版会
〈前衛〉とは何か? 〈後衛〉とは何か?	塚本昌則・鈴木雅雄編	8500	9784582702828	平 凡 社
グラウンド・ゼロを書く	ジョン・W. トリート	9500	9784588470042	法政大学出版局
湖水地方案内	ウィリアム・ワーズワス	2700	9784588009389	法政大学出版局
イタリヤのカテゴリ	ジョルジョ・アガンベン	4000	9784622075103	み す ず 書 房
小説の恋愛感触	内藤千珠子	2800	9784622075196	み す ず 書 房
[政治哲学・社会哲学]				
危機からの脱出	伊藤誠・本山美彦編	2500	9784275008824	御 茶 の 水 書 房
物質・生命・心理とは何か(社会・人文科学序説)	池田宗章	8600	9784275008893	御 茶 の 水 書 房
自由論の討議空間	三浦信孝編	3000	9784326351503	勁 草 書 房
民主政の不満 公共哲学を求めるアメリカ 上	マイケル・サンデル	2600	9784326101962	勁 草 書 房
増補 日本経済新聞は信用できるか	東谷暁	780	9784480427052	筑 摩 書 房
沖縄の自己決定権	喜納昌吉	1400	9784624301149	未 來 社

人文会会員名簿

〒113-0033 文京区本郷5-32-21 みすず書房内

2010年9月現在

社名	担当者	〒	住所	電話	FAX
大月書店	駒谷 光彦	113-0033	文京区本郷2-11-9	3813-4651	3813-4656
御茶の水書房	平石 修	113-0033	文京区本郷5-30-20	5684-0751	5684-0753
柏書房	富澤 凡子	113-0021	文京区本駒込1-13-14	3947-8253	3947-8255
紀伊國屋書店	三橋 直也	153-8504	目黒区下目黒3-7-10	6910-0519	6420-1354
慶應義塾大学出版会	大野 友寛	108-8346	港区三田2-19-30	3451-6926	3451-3124
勁草書房	吉武 創	112-0005	文京区水道2-1-1	3814-6861	3814-6854
春秋社	片桐 幹夫	101-0021	千代田区外神田2-18-6	3255-9611	3253-1384
晶文社	太田 泰弘	101-0051	千代田区神田神保町1-11	3518-4940	3518-4944
誠信書房	新保 卓夫	112-0012	文京区大塚3-20-6	3946-5666	3945-8880
創元社	華園 斉	162-0825	新宿区神楽坂4-3 煉瓦塔ビル	3269-1051	5229-7139
筑摩書房	廣井 一茂	111-8755	台東区蔵前2-5-3	5687-2680	5687-2685
東京大学出版会	橋元 博樹	113-8654	文京区本郷7-3-1	3811-8814	3812-6958
日本評論社	朝倉 哲哉	170-8474	豊島区南大塚3-12-4	3987-8621	3987-8590
白水社	岩野 忠昭	101-0052	千代田区神田小川町3-24	3291-7811	3291-8448
平凡社	根井 浩一	112-0001	文京区白山12-29-4 泉白山ビル	3818-0874	3818-0674
法政大学出版局	古川 真	102-0073	千代田区九段北3-2-7	5214-5540	5214-5542
みすず書房	田崎 洋幸	113-0033	文京区本郷5-32-21	3814-0131	3818-6435
ミネルヴァ書房	三上 直樹	101-0054	千代田区神田錦町3-6 石澤ビル3F	3296-1615	3296-1620
未来社	水谷 幹夫	112-0002	文京区小石川3-7-2	3814-5521	3814-8600
吉川弘文館	馬場 正彦	113-0033	文京区本郷7-2-8	3813-9151	3812-3544

会長 菊池明郎(筑摩書房)
 代表幹事 田崎洋幸
 会計幹事 平石 修
 書記幹事 新保卓夫

(◎委員長(幹事) ○副委員長)

販売・企画委員会 ◎橋元博樹 ○華園 斉・富澤凡子・根井浩一・廣井一茂・三橋直也
 調査・研修委員会 ◎吉武 創 ○朝倉哲哉・太田泰弘・片桐幹夫・古川 真・水谷幹夫
 広報委員会 ◎大野友寛 ○三上直樹・岩野忠昭・駒谷光彦・馬場正彦

人文会ホームページ <http://www.jinbunkai.com>

草色のギャラリ―

谷川晃一 作品から湧き起こる情動を分析し、作家の魅力を味わう美術エッセイ集。ピカソから三岸好太郎まで。三三〇円

精神分析と美

メルツァー/ウイリアムズ 美的葛藤は発達、人格形成に何をたらすか。欲動論を提え直す試論。細澤仁監訳 三〇〇円

もの忘れと認知症

ブライトン 看護学者がやさしくまとめる、ふつうの老化を恐れないための老年期の暮らしの知識。都甲 崇監訳 三〇〇円

統合失調症 2 (Heritag)

中井久夫 「寛解過程」に着眼した独自の臨床をもとに書かれ、その後の研究と治療を変えた重要論文三編収録。三三〇円

みすず書房 (税込)

東京本郷 5-32-21 <http://www.ms2.co.jp>

沖縄写真家シリーズ 琉球烈像 第4巻 (第1回配本) 大城弘明写真集

地図にない村

大城弘明写真/仲里効解説
報道写真家としていまなお沖縄を撮り続ける氏の軌跡を集成した待望の作品集。
モノクロ123点収録。◆3990円

(第2回配本予定) 東松照明写真集
camp OKINAWA

【宮本常一著作集別集】 私の日本地図11 阿蘇・球磨

香月洋一郎編/毛利甚八解説
暮らしの持続と向上につとめ世代をついできた人びとのたゆまぬ意志と人生をよむ九州脊梁山地の旅。◆2310円

ネルソン・マンデラ

ジャック・ラング著/塩谷敬訳
27年間の獄中生活乗り越え「全民族融和の象徴」となった反アパルトヘイトの闘士の評伝。カラー口絵4点。◆2730円

※表示価格は税込
未來社 〒112-0002 東京都文京区小石川3-7-2
TEL.03-3814-5521 www.miraisha.co.jp/

ミネルヴァ日本評伝選

創刊7周年

安田善次郎

果報は練って待て

由井常彦著 未公刊の本人による手控、日記等の一次史料をもとに、日本経営史の碩学が筆を揮って描く知られざる大銀行家の生涯。 3150円

本田宗一郎

やってみても、何がわかる

伊丹敬之著 エネルギーと魅力に溢れた彼の人生を、経営戦略の泰斗がインタビューを駆使し、彼を取り巻く人々の活躍とともに描く。 2310円

ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL.075-581-0296 価格税込み/宅配可

いま、(都)の視点から日本古代史を捉え直す!

古代の都 全3巻

好評刊行中

各2940円
[内容案内]送呈

- ① 飛鳥から藤原京へ (10月刊) 木下正史・佐藤 信編
- ② 平城京の時代 (既刊) 田辺征夫・佐藤 信編
- ③ 恒久の都 平安京 (既刊) 西山良平・鈴木久男編

おきいて名僧のことば事典

中尾 堯・井雅晴編 三四名の珠玉のことば。3045円

吉川弘文館

価格税込
東京都文京区本郷7-2/電話 03-3813-9151

暴力という病理を解明する 男が暴力をふるうのはなぜか

そのメカニズムと予防

ジェームズ・ギリガン著、佐藤和夫訳
暴力を引き起こす男性性の論理を分析し、その予防法を三段階で提案する。ジェンダー平等と非暴力の地平を見据える比類なき暴力論。46判・2940円

人種をめぐる異色のルポルタージュ エル・ネグロと僕

剣製にされたある男の物語

フランク・ヴェスターマン著、下村由一訳
博物館に展示されていた黒人の剣製(エル・ネグロ)。人間が「標本」にされていることに衝撃を受けた青年は、その足跡をたどる旅に出た。46判・2520円

東京文京 大月書店 電話03-1
本郷2-11 3813-4651
メールマガジン配信中(詳細はHPで)税込

社会主義の心理学

ヘンドリック・ド・マン 著

川口茂雄 訳

A5判308頁・3000円



経済決定論偏重のマルクス主義を否定し、社会主義的理想への信仰を説いたド・マンの名著。階級差を越えた連帯を得るために、指導者が兼ね備えておくべき資質と技法とは。レヴィ・ストロース、リクール、グラムシ、ハイティツヒらに広く影響を与えた20世紀思想史の重要書。

柏書房 東京都文京区本駒込1-13-14
Tel.03-3947-8251(価格税込)

御茶の水書房

●フランクフルト学派第一世代の真理政治の全体像を再構成
アレント・デミロウチ著/仲正昌博責任編集 新潮(1500円税別)
非体制順応的知識人 批判理論のフランクフルト学派への発展

第三分冊 「批判理論」とは何が 福野明子訳

ホルクハイマーとアドルノは第二次戦後の西ドイツ社会の状況をどのように捉え、その中でのどのような理論的実験を試みたのか。解消できるか。

●美的経験の(否定性)とは何か。芸術の自律性と至高性の二律背反は解決できるか。

クリストフ・メンケ著 類判(三三〇頁・七三〇円税別)

柿木伸之・胡屋武志・田中均・野内聡・安井正寛訳
芸術の至高性——アドルノとテリダによる美的経験
フランクフルト学派の新世界がアドルノ美学の核心を記号論・解釈学・分析哲学を駆使して明快に読み解きテリダの脱構築理論と対峙させた先駆的研究

〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20
TEL. 03(5684)0751 FAX. 03(5684)0753
http://www.ochanomizushobo.co.jp/

男の「女ぎらい」と

女の「生きづらさ」を解剖する!

女ぎらい

上野千鶴子

ニッポンのミンジニ

「皇室」から「婚活」負け犬「DV」「少年愛」「自傷」「援交」「東電OL」「秋葉原事件」まで……。
上野千鶴子が、男社会の宿痾を衝く。

9月中旬刊行予定

▼1575円

紀伊國屋書店

出版部：東京都目黒区下目黒3-7-10
(営業)TEL:03(6910)0519 表示価格は税込
http://www.kinokuniya.co.jp/

エスノグラフィー 入門 〈現場〉を質的研究する

●小田博志 人類学だけでなく、他分野への応用が注目される調査手法の実践ハンドブック。3150円

質的研究の方法

いのちの〈現場〉を読みとく

●波平恵美子／(聞き手)小田博志
生老病死の現場にどう向き合ってきたか。経験の知に学ぶ。2100円

〈動物のいのち〉と哲学

●C.ダイヤモンド他／中川雄一訳
人間の内面の傷に動物への共感と倫理の萌芽を見る。2940円

春秋社 東京都千代田区外神田2-18-6
☎03-3255-9611 (価格は税込)
<http://www.shunjusha.co.jp/>

慶應義塾大学出版会

<http://www.keio-up.co.jp/>

ベンジャミン・フランクリン、 アメリカ人になる



ゴードン・S・ウッド著

池田年穂・金井光太郎・肥後本芳男訳
イギリス帝国に生まれ、ジェントルマンになり、帝国を愛したベンジャミン・フランクリン。その彼がなぜ、アメリカ建国の父となったかのか。ピューリッツァー賞、バンクフروت賞受賞の歴史家ゴードン・S・ウッドがフランクリンの実像を描く傑作評伝。 ●3780円

〒108-8346 東京都港区三田2-19-30 【価格税込】
Tel 03-3451-3584 Fax 03-3451-3122



晶文社

恩田 陸 土曜日は灰色の馬

さまざまなジャンルの物語を書き分け、多くの読者を魅了してきた小説家が、小説・少女漫画・映画について奔放に語るエッセイ集。 ●1995円

白井晟一 無窓

東京造形大学、群馬県立近代美術館(9月～)、パナソニック電気汐留ミュージアム(2011年1月～)

ほか各地で展覧会が開催され、再評価の気運が高まる建築家・白井晟一。丹下健三とも比された氏の唯一のエッセイ集を新装復刊する。

解説・松山巖

●1995円(9月中旬刊行)

東京都千代田区神田神保町1-11 T.03-3518-4940
<http://www.shobunsha.co.jp/> (価格は税込)

NHK教育テレビ「ハーバード白熱教室」も話題、サンデル教授の名著。

マイケル J.サンデル／
金原恭子・小林正弥 監訳

民主政の不满 公共哲学を求めるアメリカ(上)

手続的共和国の憲法

▶ 忽ち重版 2730円

菊池理夫 訳

リベラリズムと 正義の限界

原著第二版 ▶ 好評5刷 4200円

*価格税込

※送料別

TEL 03-3814-6861

FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1

<http://www.keisoshobo.co.jp>

作品は読者に
読まれることで、変化する

異本論

外山滋比古

150万部突破!!「思考の整理学」

表現は人に理解されるたびに
変化し、そこに異本が生じる。
読者は自由な読み方をしてよいのだ、
著者の意図などを考慮せずに、
自分だけの異本ができる。 ちくま文庫●609円

筑摩書房

サービスセンター ☎048(651)0053
<http://www.chikumashobo.co.jp/>

はじめての カウンセリング入門

(上巻) カウンセリングとは何か

(下巻) ほんものの傾聴を学ぶ

諸富祥彦著 深く的確でクライアントの
気づきにつながる技を体得。 1785円/2310円

アスペルガー症候群への 解決志向アプローチ

利用者の自己決定を援助する

E.V.プリス・G.エドモンズ著/桐田弘江・石
川元訳 両者に負担を強いる従来のやり方を
180度転換。解決に焦点を絞る。 2940円

新・臨床心理士になる ために [平成22年版]

(財)日本臨床心理士資格認定協会監修 資格
取得を目指す人の総合ガイド。平成19年度～
21年度筆記試験問題の公開とその正答と解説
を付す。指定大学院一覽付。 1785円

誠信書房

東京都文京区大塚3-20-6
TEL.03-3946-5666(税込)

「好評既刊」
社会学

奥井智之 定価 一九九五円

奥井智之
社会学の歴史
定価二二〇〇円

東京大学出版会

〒113-8654 文京区本郷7-3-1
TEL.03-3811-8814 <http://www.utp.or.jp/>

まもなく150巻。図版で読む世界文化史

『知の再発見』双書

B6判変形・各巻1,680円

ミロ 絵画を超えた絵画
ブニェット・ミロ、ロリビエ＝ラオラ著
大高保二郎監修

エゴン・シーレ
傷を負ったナルシス
ガイユマン著/千足伸行監修

ルルドの奇跡
聖母の出現と病気の治癒
クラヴリ著/船本弘毅監修

モンスターの歴史
オードギー著/池上俊一監修

アメリカ大統領 その権力と歴史
ミシュロ著/藤本一美監修

創元社

大阪市中央区淡路町4-3-6(税込価)
Tel.06-6231-9010 Fax.06-6233-3111
<http://www.sogensha.co.jp/>

2010年9月21日発行 年3回発行 第109号

発行所 人文会 みすず書房内

〒113-0033 東京都文京区本郷5-32-21

編集協力 アジール・プロダクション

印刷 中央精版印刷株式会社

<非売品>